

石川県立歴史博物館

年 報

第 14 号
平成 22 年度版

発行にあたって

平成 22 年度は、3 つの特別展と 2 つの企画展、あわせて 5 つの展覧会を基本として博物館活動を行いました。

特別展を総覧すると、春季特別展「シャルジャ、砂漠と海の文明交流ーアラビアの歴史遺産と文化ー」は、長年に渡って、アラビア半島で発掘調査を続けてきた金沢大学の協力を得て開催された、日本初となるアラビア考古学の展覧会でした。開会式にはシャルジャ首長国首長殿下及び王女殿下のご臨席を賜りました。夏季特別展は「トキ舞う空へ 鳥と人の文化史」を開催し、トキの再生及び鳥と人との共生について、歴史という視点から見つめ直しました。長年トキの保護活動に尽力されてきた村本義雄氏（羽咋市）より石川県に寄贈された、貴重なトキ関係資料も多数紹介され、話題を呼びました。秋季特別展「徳川将軍家と加賀藩ー姫君たちの輝きー」では幕末の激動期に徳川将軍家を支えた篤姫や和宮の婚礼調度品などを中心に、加賀藩の資料や関連する優品などを加えて、将軍家と加賀藩主前田家との密接な関係を紹介しました。展覧会初日には徳川・前田両家のご当主対談も開かれ、大変充実した展覧会となりました。

また、平成 19 年度から継続開催している「石川の歴史遺産セミナー」は、今年度より新たに「能登」をテーマとし、「能登」をめぐる研究課題を様々な角度から検証しました。今年度は計 3 回開催し、毎回多数の参加があり好評でした。

一方で、博物館リニューアルに向けて、外部有識者による歴史博物館リニューアル検討委員会も設置され、年度内に計 4 回の検討会議が開催されました。一般県民の皆様からのご意見もいただきながら検討を重ね、その結果は『歴史博物館リニューアル基本構想』として取りまとめられました。

今後も様々な文化事業を開催し、皆様に博物館をより活用していただけるよう努力するとともに、数年後に予定されているリニューアルに向け、歩みを進めて行きたいと考えています。

ここに、平成 22 年度の年報を発行するにあたり、これまでご協力を賜りました関係各位に感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

平成 24 年 3 月

石川県立歴史博物館

目	次
基本構想・利用案内	2
平成 22 年度における主要なできごと	3
I. 平成 22 年度の事業	
1. 展示活動	5
2. 調査研究活動	19
3. 資料収集保管活動	21
4. 教育普及活動	24
5. 入館状況	28
II. 施設概要	
1. 設備概要	29
2. 各室面積一覧	29
3. 館内平面図	30
III. 組織と運営	
1. 職員組織	31
2. 職員名簿	31
3. 予算及び決算	31
4. 事務分掌	32
5. 各種委員会	33
6. 入場料について	34
IV. 関係条例・規則	
1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例	35
2. 石川県立歴史博物館管理規則	35
3. 石川県立歴史博物館使用料条例	37
4. 石川県立歴史博物館使用料条例施行規則	38
V. 日記（抄）	39

基本構想

- (1) 兼六園文化ゾーンの一つの核に位置づけ、ふるさと石川を中心とした歴史と文化を正しく理解し、その継承と発展に資する学習の場として構成する。
- (2) 日本海沿岸地域における石川の歴史と文化に関連する資料を重点的、体系的に収集保管・調査研究・公開展示し、あわせてこれらについての情報を提供する。
- (3) 普及活動の強化を図り、特に学校教育との連携を強め『学習の場としての博物館』をめざす。
- (4) 生涯学習の場として、広く県民に活用され、参加できる『開かれた博物館』をめざす。

利用案内

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 年末年始・展示替期間

入館料 一般250（200）円 大学生200（160）円

65歳以上200円 高校生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

※特別展期間中は入館料変更

交通 徒歩 / 兼六園から約3分

バス / 北陸鉄道バス「出羽町」下車 徒歩約5分

「広坂」下車 徒歩約8分

タクシー / JR金沢駅から約15分

自動車 / 北陸自動車道 金沢西ICから約30分

森本ICから約20分

駐車場 50台（無料）

所在地 石川県金沢市出羽町3番1号



平成22年度における主要なできごと

●シャルジャ首長が春季特別展開会式にご臨席

日本初となるアラビア考古学の展覧会が、アラブ首長国連邦シャルジャ首長国と、アラビア半島で長年発掘調査を続けてきた金沢大学との協力により、当館を皮切りに全国5箇所で開催されました。4月23日に開催された開会式および内覧会には、シャルジャ首長国首長殿下並びにフール王女殿下がご臨席され、伝統音楽隊による音楽やダンス、アラビアの伝統工芸の技が披露されるなど、盛大な開幕となりました。展覧会初日の24日および25日は、アラビックコーヒーの試飲やアラビア書道（カリグラフィー）のワークショップを開催し、来場者に遠い砂漠の国の歴史と文化を体感していただきました。



首長殿下の展示観覧

●村本義雄さんのトキ関係資料が一堂に

今年度、トキを中心とした鳥類の研究と保護活動を行ってきた羽咋市の村本義雄氏より、貴重な鳥類関係資料約1,700点が石川県に寄贈されました。折しも平成22年1月には、いしかわ動物園でトキの分散飼育が始まり、トキ再生への関心が高まっていました。当館では、トキの再生および鳥と人との共生について、歴史という視点から見つめ直すことを目的に、夏季特別展「トキ舞う空へ 鳥と人の文化史」を開催し、あわせて村本氏寄贈資料を一堂に公開しました。



村本氏による展示ツアー

●徳川将軍家と加賀藩・ご当主対談開催

秋季特別展「徳川将軍家と加賀藩」の開催を記念し、徳川宗家第18代当主・徳川恒孝氏と、前田家第18代当主・前田利祐氏のご当主対談が、県立美術館ホールを会場に開催されました。

家康、利家に始まる両家の関係から、幕末以降の徳川家を支えた篤姫（天璋院）の教育方針など、展覧会に関連した内容も織り交ぜてお話いただき、聴講の方々も興味深く聞いておられました。また、お二人が同じ会社に在職されていた頃の楽しいエピソードも飛び出し、終始なごやかな講演会となりました。



●石川の歴史遺産セミナー「能登」スタート

石川の歴史遺産セミナー「白山」は第8回をもって終了となりましたが、平成22年度からは能登研究の更なる発展を目指して「能登」を新テーマとし、第9回から第11回を開催しました。

これまでと同様、県内外の研究者による講演会とその後のパネルディスカッションを軸に、能登をめぐる研究課題を多角的に検証し、その成果を公開するとともに、年度末には講演録を発行しました。



●脇田晴子館長が文化勲章を受章

当館の脇田晴子館長が平成 22 年度の文化勲章を受章されました。これを受け、平成 23 年 2 月 5 日には文化勲章受章記念講演会を当館学習ホールで開催し、「私の歩んだ道」と題して、研究者としての道のりに加え、女性としての生き方などを様々なエピソードとともに語っていただきました。

平成 23 年 2 月 5 日(土) 午後 1 時～3 時 聴講人数 117 人



記者会見の様子



文化勲章受章記念講演会

●リニューアル検討委員会開催

数年後に予定されている歴史博物館リニューアルに向けて、10 月 4 日に第 1 回目の検討委員会が館内で開催されました。学識経験者のみならず、観光など多様な分野から構成されたリニューアル検討委員により、展示内容からサービスまで、新しい歴史博物館像について意見が交わされました。会議終了後は、展示室から収蔵庫まで、問題点や改善点を検証しながら館内の視察を行いました。なお、年度内に第 2 回(11 月 12 日)、第 3 回(12 月 21 日)、第 4 回(2 月 14 日)が県庁内で開催されました。



●れきはくメイトの行事

れきはくメイトを対象にした行事として、5 月、10 月に金沢市内の歴史散歩を、6 月、11 月にバスツアーを開催しました。今年度は、6 月が高岡、11 月が越前と近隣を中心としたバスツアーでしたが、高岡では重要文化財建造物の大修理を行う勝興寺で工事現場を見学し、越前では隠れた名園・城福寺庭園と伝統工芸の産地をめぐるコースとするなど、工夫をこらして開催しました。



春の歴史散歩



秋のバスツアー

I. 平成 22 年度の事業

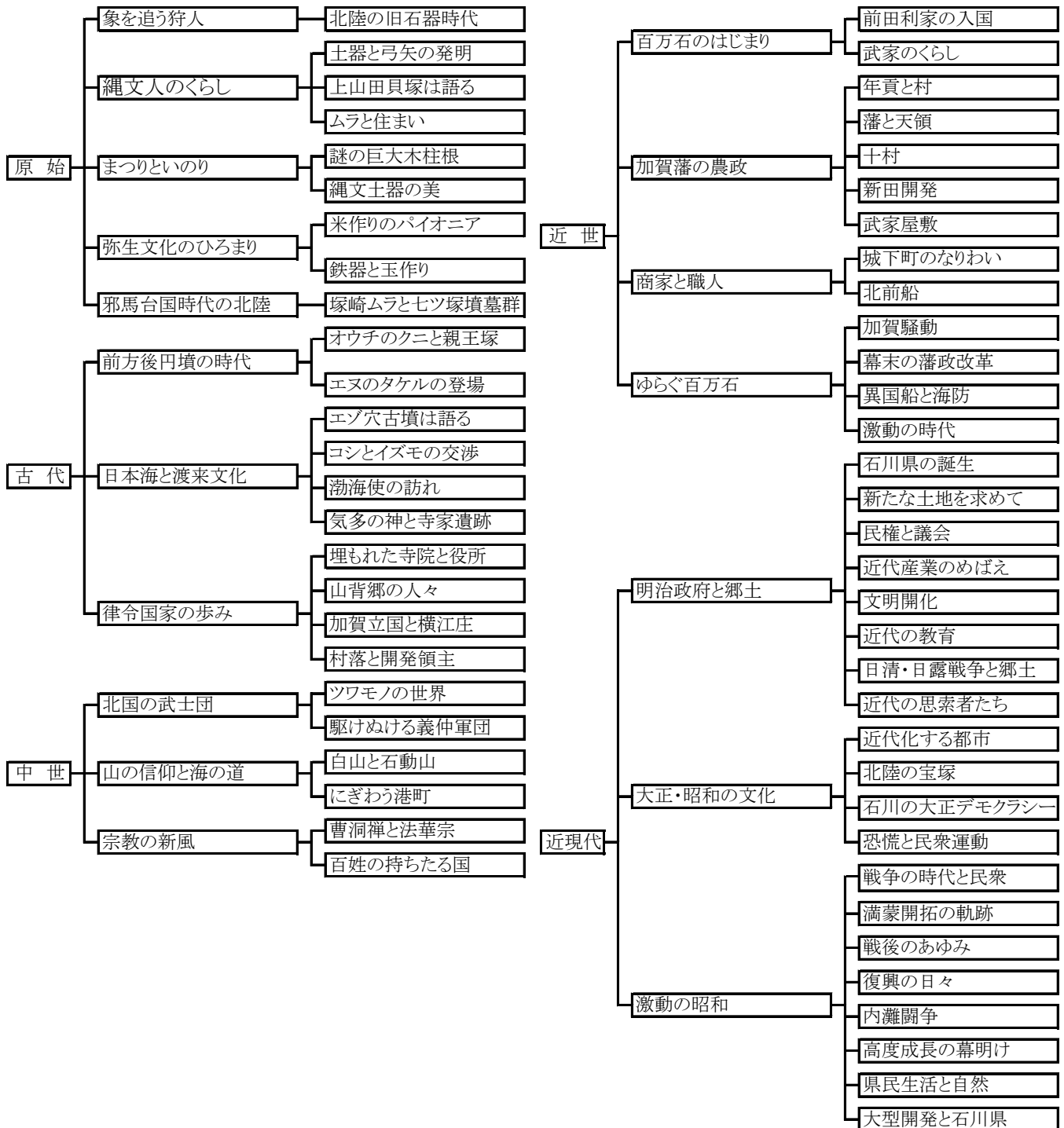
1. 展示活動

(1) 常設展示：石川の歴史と文化 I・II

＜第1・2展示室＞

常設展示は、石川県の歴史を特に社会経済及び文化史的な面から、中央と地域史を整合させつつ、環日本海文化の視点にたつて、編年体で配列することを基本的な考え方としている。

展示の構成



原始 原始コーナーでは、旧石器時代から弥生時代までの歩みを、発掘調査の成果をもとに展示している。旧石器時代の狩人たちが用いた各種の石器や、北陸の厳しい風土に生きた縄文人のくらしの知恵や祈りについて紹介している。また、弥生時代では、米づくりを始めた新しい生活と、北陸地方で発達した玉作りなどの技術に焦点を合わせるとともに、古墳出現前夜のようなすについても触れる。



古代 親王塚古墳や狐山古墳などの大型古墳の出現をたどりながら、国家統一を進めた畿内勢力との関係を探る。また、渡来系のエゾ穴古墳を復元展示すると共に、渤海交渉を取り上げ、古代の郷土が大陸交渉の北の門戸であったことを紹介する。律令時代では、寺院跡・官衙跡の出土品や山背郷計帳などを展示し、地方行政と民衆の暮らしを紹介する。さらに、初期荘園の成立から開発領主の誕生までを、考古学の成果をもとにたどる。

中世 平安後期に誕生した武士団を、源平の争乱を通して考える。また白山と石動山に代表される山岳信仰の世界を、寺社資料を中心に紹介し、さらに日本海の海上輸送によりにぎわった大野庄湊の様子を、普正寺遺跡の出上遺物で表現している。次に鎌倉新仏教の新風として、曹洞禅と日蓮宗を取り上げ、最後に守護大名の支配に抵抗し、「百姓の持ちたる国」をつくりあげた加賀の一向一揆について、考古資料をまじえて紹介する。

近世 第1展示室では、百万石大名前田氏の成立と武家のくらしを紹介するほか、武士を支えた農村の姿を、年貢や村のしくみ、十村制度などで総合的に展示する。第2展示室では、近代への導入として城下町金沢のなりわいを取りあげ、また北前船の資料も展示する。藩体制の崩壊過程は、加賀騒動・幕末の藩政改革・異国船と海防・激動の時代の4つの区分で表現する。



近現代 石川県の近代百年の歩みを、北陸全体の動きと関連づけながら紹介する。明治期では、自由民権運動・殖産興業・文明開化・日清日露戦争など、大正から昭和にかけては、金沢郊外粟ヶ崎遊園の賑いを中心に大衆文化の様相を再現し、DVD映像を使って社会の流れを紹介する。昭和に入っては、戦争と民衆の生活など激動の時代の姿を展示し、最後に、戦後石川の歩みを写真構成でたどる。また展示の一環として、DVD映像の映写ホール〈キネマシアター〉を設け、県内に残る大正～昭和初期の古いフィルムを100インチの大画面映像で再生する。

(2) 常設展示：石川の歴史と文化Ⅲ <第3展示室>

ここでは、町・海・山・里の人々のくらしの知恵、心にひそむ願い・祈りにスポットを当てて、家屋の移築復元等で臨場感あふれる大型展示を取り入れている。また、里のコーナーでは、大型3面マルチビジョンで加賀能登の農耕儀礼を紹介している。

- 旧鶴来町の商家復元と祭の獅子飾り
- 珠洲市の舟小屋復元と海辺の絵馬堂
- 白山麓の民家復元と焼畑収穫祭
- 農耕儀礼ビデオとワラの信仰民具

(加賀能登の農耕儀礼マルチビデオプログラム)

1. あえのこと (8分)
2. スサノオ神話の祭り (9分)
3. 猿鬼とたぶの木 (7分)
4. 実盛の怨霊祭り (9分)



(3) 姉妹館交流コーナー <第1棟2階>

展示期間	展示内容
4月1日～3月31日	韓国国立全州博物館との交流事業の紹介

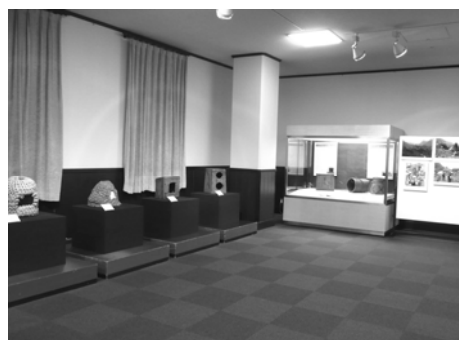
(4) 歴史スポット展示コーナー <第4展示室>

歴史スポット展示コーナーでは、各学芸員が特に注目する資料や話題の資料を小さな企画展示の形で紹介し、1～2か月ごとに展示替えを行っている。(第4展示室を特別展会場等に使用する場合は開催しない。)

展示期間	名称
6月9日～7月11日	加賀藩主の手紙～文字にこめられた思い～
9月8日～9月30日	加賀郡勝示札の世紀～加茂遺跡にみる古代社会～
10月1日～11月3日	近世のごちそう～「食」がもたらすシアワセ～
11月6日～11月30日	金沢は大にぎわい！～盆正月の世界～
12月1日～12月27日	加賀藩の和算力～天文測定のネットワーク～
1月4日～2月6日	加賀象嵌 いま・むかし
2月9日～3月21日	ネコのコヤ～白山ろくの暮らしとネコ～
3月24日～4月20日	昭和初期の世相



姉妹館交流コーナー

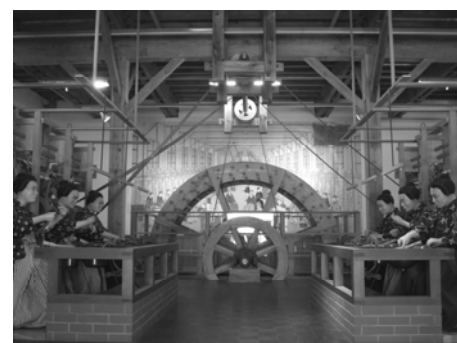


歴史スポット展示コーナー

(5) 常設展示：近世・近代の科学と技術 <第5・6展示室>

近代科学・技術の発達の様子を、主としてその導入過程を中心に展示する。その際、技術史部門では「金沢製糸場」の復元をメインに地域の技術の歴史を、また科学史部門では医学・からくり・和算測量など、様々な分野の科学技術の歴史を地域の視座から、それぞれ近世の事例を中心に多様な資料で紹介する。

技術史 石川県においては、その基幹産業である繊維と繊維機械産業の誕生と展開を軸に、産業革命に至る技術の歴史をたどることができる。明治7年に創設された金沢製糸場は、旧藩士長谷川準也らの手により官営の富岡製糸場にならって経営されたもので、士族授産事業の一環として、県下の殖産興業の先駆けとなった。同製糸場錦絵にみえる動力源の水車とこれに連動する糸操機は、この段階での技術水準をよく示している。なお製糸場の実際の建設にあたった津田吉之助は、尾山神社神門を設計するなど、石川県の文明開化に深くかかわった人物であり、その息子米次郎は絹糸織機の発明に尽力、輸出羽二重を中心とした繊維産業の近代化に大きく貢献した。このほか硬質陶器、自転車リム製造など、全国的にも特徴的な産業技術にみるべきものがある。



- 繊維の技術史
- 殖産興業と水車

科学史

幕末維新期の加賀藩の科学史には、いくつかの注目すべきものがある。医学・薬学では、高い水準の本草学を基礎に、黒川良安などが近代医学を導入、お雇い外国人の協力も得て全国的にも早いスタートを切った。和算、天文、測量では、辰巳用水の先駆的な事例をはじめとして、幕末には遠藤高璟・河野久太郎・石黒信由ら多くの人材を輩出した。

さらに、地理的な要因もあって、加賀藩は早くから海防に力を注ぎ、「梅鉢海軍」とよばれる艦隊を保持するに至る。その際、洋式兵学校壮猶館や七尾語学所、大聖寺藩士らが初めて琵琶湖に就航させた外輪汽船「一番丸」など、これを支えた教育機関や軍事技術の利用の側面にもみるべきものがあつた。また、からくりで知られる大野弁吉も、写真技術やエレキテルなどの理化学の分野で注目されている。

- 医学・化学・博物学 ●天文・暦学 ●科学者弁吉
- 和算・測量 ●兵学 ●土木技術

(6) 常設展示：江戸時代の暮らし <第7展示室>

この展示室は、資料に基づいて江戸時代の日常生活の一端を表現している。武士・農民・町人それぞれのテーマは異なるが、いずれも人々の暮らしに焦点を当て、模型やアニメーション、映像システムなどを駆使して展示している。

武士

武士のコーナーでは、武士が成長していくうえでの人生儀礼と家の相続にスポットをあて、史料を数多くとり入れたアニメ番組「小太郎君の武家社会」として紹介している。番組を展開するステージとして、ターンテーブルの上に、武家屋敷の模型と広間での袴着の場を造り、「小太郎君」といっしょに体験してもらえるように工夫した。側面には、武士の一生に関わる史料（古文書など）を展示している。

**農民**

江戸時代の農村の人々の生活の一端を垣間見る。有力百姓村松家に残ったメニューより再現した食事からは当時の食生活を、農具からは日々の生業の有様を、また、元十村土屋又三郎の筆による『農業図絵』からは、農作業の詳細な過程や人々の生活の様子を見い出すことができる。そして、『民家検労図』に描かれた精密な農作物の図には、土に生きた人々の農作物への強い関心が表れている。

町人

町人のコーナーでは、「城下町を歩く一金沢城下図屏風」と「店のしるし」をメインテーマとしている。

「城下町を歩く」では、石川県指定文化財の「金沢城下図屏風」のコルトンと、屏風に描かれた人々の暮らし、建物の様子等、6本の番組が展観できる。

「店のしるし」には、江戸時代から明治時代に至る各種店舗の看板を展示している。当時の店の特徴を表現したものもあり、商人の工夫がよくわかる。

(7) 常設展示：館蔵コレクション <第8展示室>

博物館の大きな役割の一つに、資料の収集がある。本館でも、昭和42年以来、中世陶器（珠洲古陶）、農業開発（地方文書・農具）、海運（北前船関係資料）、加賀藩の学芸（俳諧資料、工芸関係資料）、教育（教科書）、諸職（職人関係資料）などの収集活動を進めてきた。この展示室では、こうした「館蔵コレクション」の中から、ともすれば埋もれがちな地域に密着した資料を選び、中世から近代までの生活史の一コマを、実物資料を通じて御覧いただけるよう展示している。

- 珠洲古陶 ●金工 ●下駄づくり
- 仏壇 ●北前船 ●音と光の機器



(8) 歴史体験コーナー

このコーナーは児童生徒が歴史の教材内容を理解するための“体験し学習する博物館”として設けている。各時代を代表するようなテーマを選択し、それに関連した実物資料などに実際に手を触れ、または試すという体験学習を基礎に、パネル教材を補助として歴史学習を行うものである。常設展示の一部であり、いつでも利用できるようになっている。

また、体験コーナーの一角に、子供向図書の閲覧コーナー「寺子屋れきはく」を開設している。

原始・古代編 テーマ／原始古代人の知恵と生活～衣と食～

平成 22 年 4 月 3 日(土)～7 月 7 日(水)

原始・古代では、「衣」「食」をテーマとして、縄文時代から平安時代までの衣食に関する体験学習を行い、火おこしや飛鳥時代の衣服の着用など、数多くのメニューを用意した。

また、「考古学への誘い」として、縄文・弥生・古墳など各時代の土器を用途別に分類し、実際に手で触れ各土器の違いを体験してもらった。



原始・古代編

● 「衣」のメニュー

- ・カンガリを編んでみよう
- ・布を織ってみよう
- ・貫頭衣を着てみよう
- ・飛鳥時代の衣服を着てみよう

● 「食」のメニュー

- ・土器や石器に触れてみよう
- ・弥生時代の農具に触れてみよう
- ・石包丁の切れ味
- ・古代の火おこし
- ・銅鐸を鳴らしてみよう

※7月8日(木)から9月7日(火)まで、夏季特別展「トキ舞う空へ 鳥と人の文化史」(開催期間:7月17日～8月31日)の会場と、それに伴う展示替のため閉鎖。

中世編 テーマ／装いと遊び

平成 22 年 9 月 8 日(水)～平成 23 年 3 月 27 日(日)

中世では、「装い」と「遊び」をテーマとして、鎌倉時代から、戦国時代に至るさまざまな階層の人たちの衣服の着用や遊具の体験学習を行った。また、当時の絵巻物や屏風絵から中世社会の様子を読みとってもらった。

各コーナーには「一遍聖絵」や「鳥獣人物戯画」などそれぞれのメニューに即した拡大写真パネルを設置し、中世の人々の様子を紹介した。



中世編

● 「装い」のメニュー

- ・侍大将(腹巻)
- ・僧兵(覆面)
- ・中世の庶民(天秤をかつぐ)
- ・白拍子(緋袴)
- ・修験者(法螺貝を吹く)

● 「遊び」のメニュー

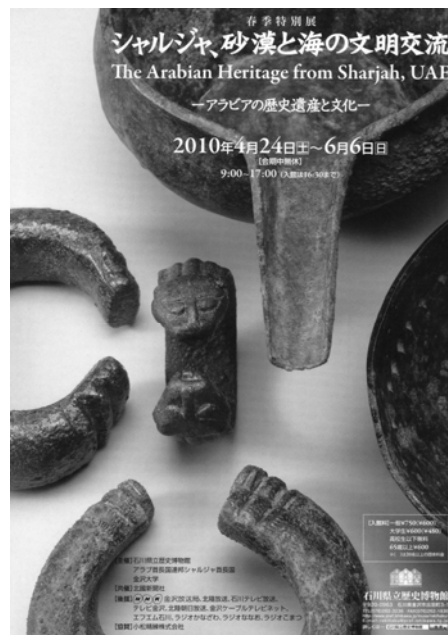
- ・盤双六(追い回し)
- ・貝合せ
- ・独楽まわし

(9) 特別展

春季特別展

シャルジャ、砂漠と海の文明交流—アラビアの歴史遺産と文化—

アラビア半島で最も考古学調査が進むシャルジャ首長国より、同国文化情報省が所蔵する出土品や文化遺産を中心に、その発掘成果や砂漠の民の伝統的な生活・文化を紹介した。25年に渡ってアラビア半島の考古学調査を続けてきた金沢大学と、シャルジャ首長国との協力により実現した、わが国初のアラビア半島考古学の展覧会。



会 期 平成 22 年 4 月 24 日(土)～6 月 6 日(日)
[44 日間] 会期中無休

入 館 料 一般 750(600)円 大学生 600(480)円
65 歳以上 600 円 高校生以下無料
※()内は 20 名以上の団体料金

会 場 第 1 特別展示室 第 2 特別展示室 第 4 展示室

展示構成

- 第 1 部 アラビア半島の歴史と考古学
- 第 2 部 アラビア半島の文化遺産

主な展示品(総展示数 825 点)

- ・ブハイス遺跡出土品
- ・ムレイハ遺跡出土品
- ・ディバ遺跡出土品
- ・コールファッカン遺跡出土品
- ・国王古地図コレクション
- ・カリグラフィ
- ・アラビアの伝統衣装と装身具
- ・ナツメヤシの工芸品
- ・絵画等現代芸術作品

催 物

記念講演会

日 時：平成 22 年 5 月 22 日(土)13:30～15:00
演 題：「アラビア半島を掘る」
講 師：佐々木 達夫氏 (金沢大学人間社会研究域教授)
場 所：当館学習ホール
聴講人数：53 人

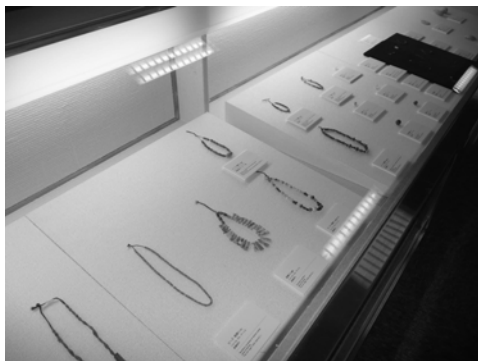
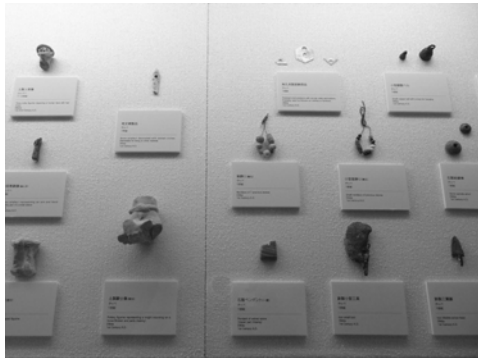
シャルジャ音楽隊公演

日 時：平成 22 年 4 月 24 日(土)10:00～ 13:30～
出 演：シャルジャ伝統音楽隊
場 所：当館前庭

アラビア書道(カリグラフィ)の実演

日 時：平成 22 年 4 月 24 日(土)、25 日(日)10:30～
講 師：ハリット・アリ・アル・ジャラフ氏 井上睦子氏
場 所：当館第 4 展示室

展示風景



開会式



ヘナアート



内覧会



ナツメヤシ工芸



伝統音楽隊公演



アラビア書道（カリグラフィー）の実演



伝統衣装の体験



講演会



夏季特別展

トキ舞う空へ 鳥と人の文化史

平成22年1月、いしかわ動物園でトキの飼育が始まったことに合わせ、トキと人、鳥と人のつきあいの歴史を、北陸3県に残る歴史資料や、戦後からトキの保護活動と生態研究を続けてきた村本義雄氏からの寄贈資料をもとに振り返り、両者の共生の未来をさぐった。



会 期 平成22年7月17日(土)～8月31日(火)
[46日間] 会期中無休

入館料 一般 550(440)円 大学生 450(360)円
65歳以上 440円 高校生以下無料
※()内は20名以上の団体料金

会 場 第1特別展示室 第4展示室 歴史体験コーナー

展示構成

第1ステージ トキ 命の軌跡

(1)トキってどんな鳥 (2)トキ再生への道のり (3)＜命の痕跡＞コレクション

第2ステージ 鳥と人の500年

(1)鳥の楽園・気多大社 (2)鷹狩りの世界 (3)飼い鳥と鳥構え (4)鳥を描いたお殿様 (5)鳥たちの近代

主な展示品(総展示数 601点)

村本義雄コレクション		当館
鳥見役文書	江戸時代	加茂武志氏
気多神社文書	16～17世紀	気多神社
梅田豊直・九栄筆鳥写生図	江戸時代	石川県立工業高等学校
前田利民筆鳥写生図	19世紀	黒部市美術館
トキ剥製	明治34年頃	金沢市立小将町中学校

催 物

特別セミナー

日 時：平成22年7月19日(月・祝) 13:30～15:00
演 題：「トキ野生復帰への道ー動物園が取り組んだ復活作戦ー」
講 師：竹田伸一氏(いしかわ動物園主任)
場 所：当館学習ホール
聴講人数：36人

村本義雄氏による展示ツアー

日 時：平成22年7月18日(日)・8月1日(日) 14:00～15:00
講 師：村本義雄氏(日本中国朱鷺保護協会名誉会長)
場 所：第4展示室 歴史体験コーナー(第1ステージ)
参加人数：7/18(38人) 8/1(25人)

学芸員による展示ツアー

日 時：平成22年7月25日(日)・8月8日(日) 14:00～15:00
場 所：第1特別展示室(第2ステージ)
参加人数：7/25(21人) 8/8(43人)

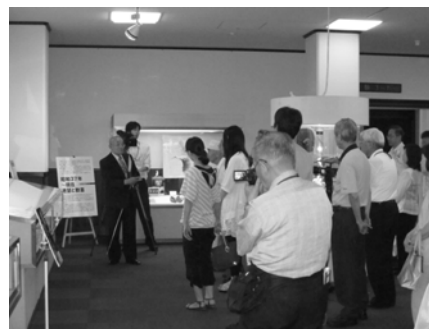
展示風景<第1ステージ>



体験の様子



展示ツアー



展示風景<第2ステージ>



展示ツアー



特別セミナー



秋季特別展

徳川将軍家と加賀藩—姫君たちの輝き—

徳川将軍家から加賀前田家に嫁いだ珠姫、大姫、溶姫らの婚礼関係資料から、将軍家と前田家の濃密な関係について探るとともに、幕末の激動期に徳川将軍家を支えた篤姫や和宮の婚礼調度品などを紹介し、姫君たちの生涯に光を当てた展覧会。



会 期 平成22年9月23日(木・祝)～11月3日(水・祝)
[42日間] ※会期中無休

入 館 料 一般 850(680)円 大学生 700(560)円
高校生以下無料 65歳以上 680円
※()内は20名以上の団体料金

会 場 第1特別展示室

展示構成 プロローグ ①徳川家康と前田利家・利長
②徳川秀忠と前田利常 浩妙院

- (1) 珠姫と前田利常
- (2) 大姫と前田光高・綱紀
- (3) 溶姫と前田斉泰
- (4) 篤姫と和宮の時代
- (5) 幕末から明治へ

主な展示品(総展示数 102件 245点)

●=国宝 ◎=重要文化財 □=石川県指定文化財 △=加賀市指定文化財

◎蒔絵朱鞘大小拵 前田利家所用	16世紀	尾山神社
□芳春院書状 おちよ宛	17世紀	前田土佐守家資料館
◎山水蒔絵料紙箱・机 浩妙院遺愛品	17世紀	妙成寺
◎菊桐紋蒔絵角赤手箱 天徳院所用	17世紀	菅生石部神社
△黒塗葵紋散蒔絵雛道具 天徳院所用	17世紀	菅生石部神社
●剣 銘吉光 清泰院持参品	鎌倉時代	白山比咩神社
黒塗葵紋に若松唐草散蒔絵化粧道具 溶姫所用	19世紀	個人
単衣(紫紵地流水芦雁模様) 溶姫着用	19世紀	東京国立博物館
薩州桜島真景図 敬子(天璋院)所用	19世紀	徳川記念財団
柄鏡(葵牡丹紋)・鏡箱(溜塗葵牡丹紋散蒔絵) 敬子(天璋院)所用	19世紀	徳川記念財団
旅櫛箱(村梨子地葉菊紋散蒔絵) 和宮(静寛院宮)所用	19世紀	徳川記念財団
打掛(白綸子地流水菊牡丹模様染繡) 伝和宮(静寛院宮)着用	19世紀	徳川記念財団

催 物

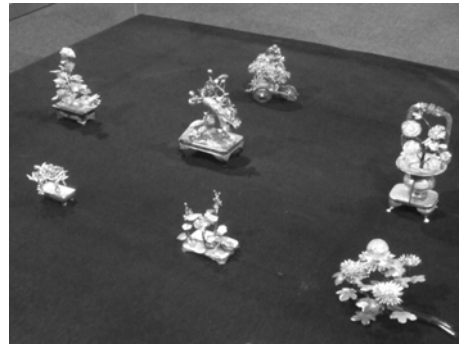
講演会

日 時：9月23日(木・祝)14:00～15:30
演 題：ご当主対談「徳川家と前田家」
講 師：徳川恒孝氏(徳川宗家第18代当主)
前田利祐氏(前田家第18代当主)
会 場：石川県立美術館ホール
聴講人数：147人

ギャラリートーク

日 時：9月25日(土)11:00～
10月9日(土)・30日(土)14:00～
場 所：当館第1特別展示室
参加人数：9/25(25人)
10/9(21人) 10/30(24人)

展示風景



ご当主対談



ご当主の展示観覧



ギャラリートーク



(10) 企画展

企画展

新春を祝うーウサギがいっぱいー

十二支の1つである「卯」は、陽春の旧暦2月、時刻でいえば明け方、方位は東を表わし、希望に満ちた飛躍の象徴といわれる。本展では、兎年にちなみ、ウサギを象ったさまざまな資料やグッズ、さらに、十二支を描いた屏風など、新春にふさわしい吉祥の書画などを紹介した。展示構成は1. ウサギがいっぱい、2. 書画で寿ぐ新春、とした。

会 期：平成23年1月4日(火)～2月6日(日)

[34日間] ※会期中無休

会 場：第1特別展示室

展 示 数：約320点



企画展

れきはくコレクション2010

平成22年度に一般の方から寄付された資料や、博物館で新たに購入した資料を公開する、年度末恒例の新収蔵品展。

栗崎の豪商・木谷家旧蔵の英国製ランプや、トキ研究家の村本義雄氏寄贈の鳥類関係資料を中心に約40件を展示し、クイズ形式のワークシートを設置して楽しみながら観覧できるようにした。

会 期：平成23年2月19日(土)～3月21日(月・祝)

[31日間] ※会期中無休

会 場：第1特別展示室

展 示 数：平成22年度寄贈・購入・借用資料約40件

列品解説

14:00～14:30

2月20日(日)「昭和のくらし」参加者9人

2月27日(日)「江戸時代の武士と町人」参加者8人

3月6日(日)「能登天領伏戸村の近世～近代」

参加者14人



2. 調査研究活動

(1) 紀要の発行

石川県立歴史博物館紀要 第23号(平成23年3月31日発行)

【講演録】私の歩んだ道	脇田 晴子
【論文】加賀藩の知行制度と宛行状	濱岡 伸也
近世初期における能登一宮気多社の再編	
－ 鳥獣保護政策との関わりから －	塩崎 久代
近江町の大行灯と素人浄瑠璃	
－ 〈祭礼なき都市〉の祭礼論 －	大門 哲
【史料紹介】回想録「過去ノ郷里ヲ追想シテ」(六)	本康 宏史

(2) 歴史遺産セミナー

博物館活動の充実を図るため、県内外の関係機関並びに研究者の協力を得ながら、当地の新しい歴史像の創造に寄与できる歴史的課題に取り組む。その際、内外の知の結集をもって、公立博物館としての専門性と情報発信機能を強化するとともに、身近な地域遺産に学び、自発的で豊かな文化活動が展開できるよう地域住民の文化力向上を図る。

第9回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「港湾都市の形成と日本海」

平成22年5月29日(土) 公開セミナー(於:当館学習ホール)

【公開セミナー】13:00~16:30

第一部 講演会

講演内容:「二つの『内海』と潟・河川・道」
「北東日本海沿岸地域の物流」

国立歴史民俗博物館准教授 高橋 一樹氏
新潟県胎内市生涯学習課主任 水澤 幸一氏

第二部 パネルディスカッション

コメント:講演会講師

進行:国立歴史民俗博物館名誉教授 吉岡 康暢氏

参加者:講演会参加者 53名

平成22年5月28日(金) 現地見学会(奥能登珠洲を訪ねて)

見学地:珠洲市立珠洲焼資料館、須須神社、珠洲焼窯址

参加者:11名

第10回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「気多神社と北陸の地域社会」

平成22年9月12日(日) 公開セミナー(於:当館学習ホール)

【公開セミナー】11:00~16:00

第一部 講演会

講演内容:「中世諸国一宮制と能登国一宮気多神社」

島根大学名誉教授 井上 寛司氏

「出雲大社と気多大社」

島根県立古代出雲歴史博物館専門学芸員 森田 喜久男氏

「近世初期の能登一宮気多社 - 前田家とのかかわりを中心に - 」当館学芸員 塩崎 久代

第二部 パネルディスカッション

コメント:講演会講師

進行:金沢学院大学教授 東四柳 史明氏

参加者:講演会参加者 74名

平成22年9月11日(土) 現地見学会(気多神社と石動山)

見学地:羽咋市気多大社・正覚院、中能登町石動山

参加者:14名

第 11 回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「能登と北海道・満州移民」

平成 22 年 11 月 14 日(日) 公開セミナー (於: 当館学習ホール)

【公開セミナー】 11:00～16:30

第一部 講演会

講演内容: 「石川県の北海道移民と能登」
「満州移民研究の諸問題」
『石川県満蒙開拓史』によせて」

大聖寺高校教諭 新本 欣悟氏
金沢大学准教授 小林 信介氏
金沢城調査研究所担当課長 栃木 英道氏

第二部 パネルディスカッション

コメント: 講演会講師

進行: 当館学芸課長 本康 宏史

参加者: 講演会参加者 56 名



第 10 回セミナー 講演会



第 10 回セミナー 現地見学会

(3) 国際交流事業

韓国国立全州博物館との交流

大韓民国国立全州博物館と当館が平成 3 年 1 月 15 日に締結した姉妹館協約に基づき、両館の学術的、文化的交流と親善並びに、環日本海文化の共同研究を目的として事業を実施した。

交流員派遣の際には、姉妹館交流 20 周年記念として平成 23 年度に全州で開催を予定している「石川の歴史と文化展」(仮称)の予備調査ならびに具体的な打ち合わせや展示施設の下見が行われた。

【学芸員の交流】

韓国国立全州博物館学芸研究官 李文鉉及び教育学芸研究士 金恩英が来県

受入期間: 平成 22 年 4 月 26 日(月)～5 月 2 日(日) [李学芸研究官]

平成 22 年 4 月 26 日(月)～4 月 30 日(金) [金教育学芸研究士]

石川県立歴史博物館学芸員 塩崎久代を全州博物館に派遣

派遣期間: 平成 22 年 10 月 18 日(月)～10 月 24 日(日)



3. 資料収集保管活動

(1) 収集資料一覧

寄贈資料

	分類	資料名称	点数	年代
1	美術品	松尾家資料	2,446	江戸～大正期
2	美術品	短刀	1	江戸時代
3	美術品	脇指 無銘 附拵え	1	室町後期
4	歴史資料	鉄道資料	3	昭和期
5	歴史資料	鉄道資料	119	昭和期
6	歴史資料	石川県関係資料	3	平成3年
7	歴史資料	塗空穂	1	江戸時代
8	歴史資料	七絶帖	1	江戸後期(天保年間)
9	歴史資料	往復書簡	1	江戸後期(天保年間)
10	歴史資料	石川県観光地絵葉書	24	昭和20～30年代
11	歴史資料	石川県観光地パンフレット	10	昭和30～40年代
12	歴史資料	陣立図	1	(江戸時代)
13	歴史資料	前田利嗣印譜集	1	大正9年
14	歴史資料	戦争・銃後のくらし等資料	20	明治～昭和期
15	歴史資料	女子用教科書他近代資料	28	昭和初期
16	歴史資料	竹下佐太郎日露戦争関係資料	12	明治～昭和期
17	歴史資料	第百九師団経理参考書類	1	昭和14年1月
18	歴史資料	近藤修氏鉄道コレクション	31	昭和～平成時代
19	歴史資料	蔵宿縄屋文書	1,147	江戸後期～明治
20	民俗資料	鳥籠	3	昭和20年代製作
21	民俗資料	鳥籠	1	昭和10年頃製作
22	民俗資料	鳥籠	1	平成10年頃製作
23	民俗資料	鳥籠	2	昭和40年頃製作
24	民俗資料	鳥籠	2	昭和50年代製作
25	民俗資料	花嫁暖簾	1	昭和33年購入
26	民俗資料	蚊帳	1	昭和33年購入
27	民俗資料	鶯茶地芥子文様丸帯	1	明治時代
28	民俗資料	淡黄地御所車菊扇面文様丸帯	1	大正～昭和初期
29	民俗資料	鳥籠	1	昭和40年頃に使用
30	民俗資料	鳥籠	1	昭和20年頃製作
31	民俗資料	鳥籠	2	昭和30年代製作
32	民俗資料	鳥籠	1	昭和10～20年頃購入
33	民俗資料	鳥籠	4	昭和30年頃製作使用
34	民俗資料	鳥籠	2	昭和35、6年頃製作
35	民俗資料	鳥籠	2	昭和40年代製作
36	民俗資料	鳥籠	1	昭和50年頃製作
37	民俗資料	鳥籠	1	昭和30年代製作
38	民俗資料	鳥籠	2	昭和20年代製
39	民俗資料	霞網	1	昭和20年代使用
40	民俗資料	鳥籠	1	昭和35年～41年頃に使用
41	民俗資料	花籠蒔絵図盆	2	明治時代
42	民俗資料	鷹狩り用蓑	1	江戸時代

寄贈資料 合計 3,886点

購入資料

	分類	資料名称	点数	年代
1	美術品	英国製ランプ	2	明治時代
2	歴史資料	前田利家朱印状	1	16世紀末

購入資料 合計 3点

複製品

	分類	資料名称	点数	年代
1	複製	前田利政書状複製	1	江戸時代 17世紀初頭

複製品 合計 1点

修復資料

	分類	資料名称	点数	年代
1	歴史資料	絹本絹装前田綱紀公御尊影(前田綱紀画像)	1	江戸前期
2	歴史資料	芳春院かな書状	1	江戸初期

修復資料 合計 2点

寄贈・購入・複製・修復資料 合計 3,892点

(2) 資料の保存

ガス燻蒸消毒／防虫処理作業

平成 18 年度から、通常ガス燻蒸を全面中止し、特殊テントの中に炭酸ガス（二酸化炭素＝CO₂）を 2～3 週間充填して殺虫を行う方式に改めた。これまで実施してきた館内定点モニタリングと清掃作業の成果により、人体や環境への影響が懸念される化学薬品への依存を最小限にとどめるものである。また、害虫の侵入しやすい経路に対して薬剤散布による予防や、館内定点モニタリングの継続・実施により、虫菌類被害の予防に努めている。

(炭酸ガス殺虫)

- ① 作業概要 床面積 4m×4m に高さ 2m の 32 m³ の容量を持つテントに炭酸ガス（CO₂）を充填し、殺虫処理を行う。
- ② 作業の実施 22 年度は延べ 4 回実施。1 回当たりの作業時間は 9～15 日、使用炭酸ガス量は 45kg。

(環境調査モニタリング)

- ① 実施場所 第 1～3 棟の収蔵室と展示室、および 正面受付と各棟出入口
- ② 調査方法
 - ア. 害虫調査 調査区域に捕虫トラップを設置し、2～3 週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。
 - イ. 菌類調査 エアーサンプラーにより浮遊菌を採取。付着菌は各室 5 ヶ所で円筒状サブロー寒天を床面にあてて採取。
 - ウ. 浮遊粒子調査 各室 1 ヶ所バイオテストにより空気を採取し、0.3、0.5、1.0、5.0 ミクロンの 4 粒子を測定する。
- ③ 調査期間 平成 22 年度は年 3 回実施（6 月 22 日、10 月 19 日、2 月 16 日）
- ④ 結果報告 翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。

(害虫など防除作業)

- ① 各棟進入経路への薬剤散布
 - ア. 実施場所 各棟の出入口・非常口、渡り廊下出入口
 - イ. 実施期間 平成 22 年 6 月～平成 23 年 3 月（計 10 回）
 - ウ. 実施方法 低臭性殺虫乳剤をハンドスプレーにより噴霧。薬剤はジメチルー0（3-メチル-4-ニトロフェニル）、ホスホロチオエイト（低臭性 シントー スミチオン乳剤）
- ② 防塵用ソールマットの設置
 - ア. 設置場所 特別収蔵庫、文献図書室、古文書室、第 2 収蔵室
 - イ. 設置方法 各室入口に微粘着性ソールマット(30 シート 1 綴り)を設置し、付着した埃や菌を吸着する。
- ③ 光誘引捕虫器の設置
 - ア. 設置場所 第 1 棟一東入口・西入口、第 2 棟一東入口、第 3 棟一東入口、第 2 収蔵室 2 階
 - イ. 設置期間 平成 22 年 6 月～平成 23 年 3 月
 - ウ. 設置方法 前記場所 5 ヶ所に設置し、月に一度捕虫器内の粘着シートを取り替える。

(3) 館蔵資料分類表

(H23.3.31)

資料区分		収集年度	平成 21 年度末 資料総数	平成 22 年度 収集資料数	資料総数
美 術	購入 寄付		8,960	2 2,448	11,410
考 古	購入 寄付		4,064	0 0	4,064
歴 史	購入 保管換 寄付		67,360	1 372 1,403	69,136
民 俗	購入 寄付		28,214	0 35	28,249
自 然	購入 寄付		92	0 0	92
模 型	購入 寄付		199	1 0	200
パ ネ ル	購入 寄付		187	0 0	187
視 聴 覚 室 そ の 他	購入 寄付		10,132	0 0	10,132
図 書	購入 寄付		2,092 47,492	0 1,678	2,092 49,170
合 計			168,792	5,940	174,732

(4) 貸与資料一覧

貸与先	資料名	目的	期間
石川四高記念文化交流館	旧第四高等学校関係資料 合計 115 点	石川四高記念文化交流館での展示のため。	H22.4.1～H23.3.31
中能登町教育委員会	黒氏出土弥生式舟形木器複製 1 点	ふるさと創修館での展示のため。	H22.4.1～H23.3.31
珠洲市立珠洲焼資料館	カメワリ坂窯陶片 コンテナ バット 4 箱	珠洲市立珠洲焼資料館での展示のため。	H22.4.1～H23.3.31
能美市立博物館	人の線刻のある礎 ほか 2 点	能美市立博物館での展示のため。	H22.4.1～H23.3.31
米沢市上杉博物館	織田信長朱印状 ほか 2 点	米沢市上杉博物館特別展「戦国大名とナンバー2」に展示のため。	H22.5.23～H22.7.31
新潟県立歴史博物館	上杉謙信書状 ほか 3 点	新潟県立歴史博物館開館 10 周年記念特別展「日本海の至宝」に展示のため。	H22.7.15～H22.9.30
小松市教育委員会	高松塚古墳衣装 男装・女装 各 1 点	小松市埋蔵文化財センター企画展「古代のくらし展」に展示のため。	H22.7.9～H22.8.27
石川県教育委員会	体験用遊具(盤双六ほか) 10 件 37 点	第 12 回いしかわの発掘展「遊戯具の誕生～出土品にみる遊び～」に展示のため。	H22.7.9～H22.9.8
石川県金沢港大野からくり記念館	測量器 ほか 5 点	「大野弁吉と測量術展」に展示のため。	H22.7.15～H22.8.15
石川県環境部廃棄物対策課	室矢幹夫氏収集漂流物コレクション スーツケース入 3 点	いしかわ環境フェア 2010 に展示のため。	H22.8.2～H22.8.23
石川県環境部廃棄物対策課	桶ほか 7 点	いしかわ環境フェア 2010 に展示のため。	H22.8.18～H22.8.23
MIHO MUSEUM ほか (中世のやきもの展)	珠洲 大甕 ほか 4 口	「古陶の譜 中世のやきもの—六古窯とその周辺」展に展示のため。	H22.8.19～H22.8.24
敦賀市立博物館	小宮山家文書 15 点	敦賀市立博物館特別展「近世敦賀の幕開け～吉継の治めた湊町」に展示のため。	H22.9.9～H22.11.20
クリーン・ビーチいしかわ実行委員会	室矢幹夫氏収集漂流物コレクション スーツケース入 3 点	「HELLO FIVE.jp まつり」エコブース展示のため。	H22.9.17～H22.9.21
石川県立美術館	本阿弥光悦書状 ほか 2 点	「加越能の美術—縄文から江戸時代までの名宝—」に展示のため。	H22.9.11～H22.10.24
小松市立博物館	加賀市狐山古墳出土人物埴輪複製品 1 点	小松市埋蔵文化財センター開館記念特別展第 3 弾「小松の古墳時代展」に展示のため。	H21.6.29～H22.3.31
金沢大学資料館	『北辰会雑誌』96 号 1 点	特別展「前身校の先達たち—四校と医科大の 10 人—」に展示のため。	H22.10.8～H22.11.16
二塚公民館	古府遺跡出土縄文土器 ほか 91 点	二塚公民館文化祭の地元歴史再発見コーナーに展示のため。	H22.10.25～H22.11.5
衆議院 憲政記念館	第一回衆議院議員総選挙投票用紙 1 点	「政党政治への道—議会開幕から本格的政党内閣誕生へ—特別展」に展示のため。	H22.11.1～H22.12.22
前田土佐守家資料館	四条流相伝絵巻 1 点	企画展「武家の官位叙爵と婚礼」に展示のため。	H22.11.1～H23.1.31
北國新聞社 事業局	金沢城下図屏風 ほか 14 点	映画「武士の家計簿」展に展示のため。	H22.11.24～H22.12.28
クリーン・ビーチいしかわ実行委員会	室矢幹夫氏収集漂流物コレクション スーツケース入 3 点	「国際生物多様性年クロージングイベント」に展示のため。	H22.12.17～H22.12.20
前田土佐守家資料館	金平鉞山絵巻 ほか 4 点	企画展「前田土佐守家家臣 武人画家 矢田四如軒」に展示のため。	H23.1.21～H23.4.25
安城市歴史博物館	四季耕作図屏風 1 双	安城市歴史博物館開館 20 周年記念特別展『描かれた農—四季耕作図』に展示のため。	H23.1.26～H23.3.31
石川四高記念文化交流館	エジソンタイプⅡスタンダードモデル B ほか 17 点	四高記念館企画展「レトロ展—蓄音機編—」に展示のため。	H23.3.30～H23.6.3

合計 25 件 340 点

(5) 写真貸与・特別利用状況

種別	点数
写真貸与	69件104点(うち非館蔵品23件28点)
写真掲載・放映	72件102点(うち非館蔵品10件12点)
閲覧	66件1,335点
撮影	13件19点

合計 220 件 1,560 点

4. 教育普及活動

(1) 広報

新聞・広報誌・雑誌などへの掲載

新聞（一般記事・情報案内記事・県庁広報記事）
 ほっと石川、商工石川など県発行の広報誌
 各種情報誌、タウン情報誌、歴史・美術系雑誌

テレビ・ラジオでの広報

県広報番組、ニュース番組、情報番組

マスコミへの情報提供

県庁文教記者クラブ加入の 17 社に随時情報提供
 県内放送局及び新聞社に随時情報提供

インターネットによる情報提供

当館ホームページで最新情報を公開

広報誌「石川れきはく」の発行（年 4 回）

県内教育委員会、県内図書館・公民館・博物館その他の公共施設、れきはくメイト会員

「れきはくメイト情報」の発行（年 5～7 回）

れきはくメイト会員への各種案内

ポスター、チラシの配布

北陸 3 県及び岐阜県の教育委員会・小中学校、
 県内図書館・公民館・博物館その他の公共施設、
 宿泊関係施設、県内商店街、県内市町観光関係所
 管課 他

テレビコマーシャルによる広報

1 本制作（夏季特別展紹介 CM）

(2) 出版

名 称	規 格	ページ数	発行部数
春季特別展「シャルジャ、砂漠と海の文明交流」	ポスター B2 チラシ A4		800 15,000
夏季特別展「トキ舞う空へ 鳥と人の文化史」	ポスター B2 チラシ A4 図録 A4	88	1,600 20,000 1,000
秋季特別展「徳川将軍家と加賀藩」	ポスター B2 チラシ A4 図録 A4	122	600 15,000 1,000
広報誌「石川れきはく」No.95	A4	6	2,100
広報誌「石川れきはく」No.96	A4	6	2,100
広報誌「石川れきはく」No.97	A4	6	2,100
広報誌「石川れきはく」No.98	A4	6	2,100
れきはく催物案内（平成 22 年度）	A4 3 折		25,000
石川県立歴史博物館 紀要第 23 号	B5	138	500
石川の歴史遺産セミナー講演録第 9 回～11 回「能登」	A4	136	500



(3) 解説案内サービス

展示室の解説案内等は、主として解説員が担当し、また特に希望のある場合には各部門担当学芸職員が対応する。解説員は学校や一般団体への案内解説や、体験学習の指導のほか、希望により個人への解説も行う。各種問い合わせなどに対応するレファレンス業務は、各部門担当学芸職員が行う。

また、常設展示室の各展示コーナーと展示資料約 100 点について、日本語・英語の音声ガイドを無料で貸し出ししているほか、英語・中国語の解説シートを配置している。

(4) 講座

れきはくゼミナール

1. 対象・定員 どなたでも 定員なし
2. 開催期日 原則毎月第3土曜日
14:00～15:30
3. 受講料 無料
4. 会場 当館学習ホール
5. 講師 当館学芸員
6. 講座内容 別表のとおり

常設展示ワンポイント解説

1. 対象・定員 どなたでも 定員なし
2. 開催期日 原則毎月第1金曜日
14:00～14:30
3. 受講料 無料（入館料要）
4. 会場 当館常設展示室・建物周辺
5. 講師 当館学芸員
6. 内容 別表のとおり

No	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	5月15日	源氏物語の意匠	前田 武輝	27人
2	6月19日	日本列島マンホールの蓋紀行	本谷 文雄	32人
3	7月10日	加賀藩主歴代	濱岡 伸也	57人
4	8月21日	鳥がさえずる日本史	大門 哲	25人
5	9月18日	雨乞いの考古学	戸澗 幹夫	24人
6	10月16日	徳川將軍家と加賀藩	北 春千代	56人
7	12月18日	布と手わざの文化史	大井 理恵	14人
8	1月15日	乃木と日露とマッカーサー	本康 宏史	34人
9	2月19日	近世初期金沢の世相	塩崎 久代	33人
10	3月19日	高度経済成長と石川	小森 康弘	18人

No	開催日	時代	テーマ	担当者	参加者
1	5月7日	中世	白山三社神像について	北 春千代	10人
2	6月4日	近世	「田園四季耕作図絵馬」を読む	本谷 文雄	52人
3	7月2日	近代	明治・大正・昭和の教育	本康 宏史	29人
4	8月6日	民俗	戦時下のくらしと代用品	大井 理恵	12人
5	9月10日	原始	縄文時代の食生活	三浦 俊明	14人
6	10月1日	—	本多の森 屋外展示ツアー	前田 武輝	4人
7	11月12日	民俗	海辺の風景 —マガキと船小屋—	大門 哲	2人
8	12月3日	近世	金沢商人と江戸時代のお金	濱岡 伸也	22人
9	1月7日	近世	城下町を歩く —『金沢城下図屏風』—	塩崎 久代	21人
10	2月4日	現代	戦後石川の変化	小森 康弘	15人
11	3月4日	古代	出挙木簡に学ぶ	戸澗 幹夫	15人

石川県民大学校 歴史講座

(石川県の歴史と文化について、基礎的な理解を深める専門講座)

1. 対象・定員 どなたでも 定員 50 人
2. 開催期間 11月～1月の間に10回開催
水曜日 13:30～15:30
3. 参加費 3,000 円 (テキスト代を含む)
4. 会場 当館学習ホール
5. 講師 当館学芸員
6. 講座内容 別表のとおり

受講生 36 名

No	開催日	テーマ	担当者
1	11月10日	石川の原始	戸澗 幹夫
2	11月17日	石川の古代	三浦 俊明
3	11月24日	石川の中世	濱岡 伸也
4	12月1日	石川の近世Ⅰ	塩崎 久代
5	12月8日	石川の近世Ⅱ	濱岡 伸也
6	12月15日	石川の近現代	本康 宏史
7	1月5日	石川の民俗	大門 哲
8	1月12日	石川の文化財	本谷 文雄
9	1月19日	戦後の日本・石川 主な出来事	小森 康弘
10	1月26日	博物館と文化財保存	大井 理恵



常設展示ワンポイント解説

(5) 博学連携事業

学習用資料貸出事業

学校や教育関係機関に館蔵の体験用資料等を貸し出すことで、学習に役立て歴史をより身近に感じてもらう。

貸出先学校・施設	貸出期間	資料名(数量)	参加者数
石川県立ろう学校	9月3日～10日	洗濯板(1)、たらい(1)、黒電話機(1)、算盤(1)、炭火アイロン(1)	4名
	9月22日～10月1日	行灯(1)、ランプ(1)、蝋燭立て(1)、電灯(1)	4名

職場体験受け入れ事業

わく・ワーク体験

学校名	期間	参加者数
金沢市立兼六中学校	6月29日～7月1日(3日間)	6名
金沢市立額中学校	7月6日～8日(3日間)	6名
金沢市立紫錦台中学校	7月21日～23日(3日間)	6名
石川県立金沢錦丘中学校	11月10日～12日(3日間)	6名

インターンシップ等

学校名	期間	参加者数
金沢大学	8月24日～25日(2日間)	1名



職場体験（わく・ワーク）

教育センターとの連携事業

平成22年度教職員初任者研修の課程の一つとして、当館で講座を実施。

講座名	「ふるさと教育A-石川の歴史・自然-」
講師	当館学芸員
目的	石川の歴史を理解するとともに、ふるさと教育についての実践的指導力を育成する。
期日	平成22年10月7日(木) 12:45～16:00
内容	講義「歴史博物館における見学指導の在り方」 館内見学・講義「石川の歴史」
参加人数	27名

(6) 博物館実習

受け入れ実習生(合計 8人)

京都府立大学 文学部 史学科	1人
立命館大学 文学部 人文学科 日本史専攻	2人
鳥取大学 地域学部 地域文化学科	1人
金沢学院大学 美術文化学部	1人
金沢大学 文学部 史学科 日本史専攻	2人
金沢大学 文学部 史学科 西洋史専攻	1人



博物館実習

月日	時間	実習内容
8月2日	9:00～9:20	開講式
	9:20～10:30	オリエンテーション
	10:40～12:00	施設案内
	13:00～16:30	受入資料整理実習(緊急)
	16:40～17:00	今日の確認
8月3日	9:00～10:00	学芸課の業務について
	10:10～11:10	普及課の業務について
	11:20～12:00	学芸員と総務課業務
	13:00～14:00	フリートーク「博物館のイメージ」
	14:10～15:00	歴史博物館の法的輪郭
	15:10～16:30	博物館マネジメント
	16:40～17:00	今日の確認
8月4日	9:00～10:20	CO ₂ テント稼働
	10:30～12:00	資料の取扱い実習(民俗)
	13:00～15:00	写真撮影実習
	15:10～16:30	写真資料の利活用と問題点
	16:40～17:00	今日の確認
8月5日	9:00～12:00	資料の取扱い実習(歴史)
	13:00～16:30	特別収蔵庫の整理実務
	16:40～17:00	今日の確認
8月6日	9:00～12:00	資料取扱いと梱包実習
	13:00～14:00	資料の保存・管理とIPM
	14:10～16:30	展示実習(第2展)
	16:40～17:00	今日の確認
8月7日	9:00～10:00	来館者の立場で館内点検
	10:10～12:00	博物館とリニューアル
	13:00～15:00	フリートーク「博物館実習」
	15:30～16:00	閉講式

(7) れきはくメイトの運営

会員年齢構成

年齢層	性別		合計	%
	男	女		
	人	人	人	%
～10代	0	0	0	0
20代	1	2	3	0.9
30代	8	3	11	3.4
40代	5	1	6	1.9
50代	17	10	27	8.4
60代	57	55	112	34.8
70代	62	47	109	33.9
80代	37	14	51	15.8
90代～	0	2	2	0.6
不明	1	0	1	0.3
合計	188人	134人	322人	100.0%

会員住居地区別構成

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
(県内)		七尾市	1	(県外)	
金沢市	241	能登町	2	富山県	6
加賀市	3	輪島市	1	東京都	1
小松市	8	珠洲市	3	福島県	1
白山市	20			愛知県	1
能美市	2			京都府	1
野々市町	3			大阪府	1
内灘町	11			滋賀県	1
津幡町	7				
かほく市	4	県内		県外	
宝達志水町	2	(小計)	310	(小計)	12
羽咋市	2			総計	322

バスツアー・歴史散歩

バスツアー
6月25日

「高岡・再発見－伝統の町並みと寺院をめぐる－」

参加料：6,500円（入館料・拝観料・交通傷害保険料・昼食費を含む）

参加者：39人

行程：金屋町・鋳物資料館－山町筋・土蔵造りのまち資料館（昼食「ホテルニューオータニ高岡」）－勝興寺－国泰寺

バスツアー
11月12日

「越前・伝統工芸のルーツと名園の旅」

参加料：6,800円（入館料・拝観料・交通傷害保険料・昼食費を含む）

参加者：39人

行程：うるしの里会館－城福寺（昼食「レストラン瀧雅」）－紙祖神岡太神社・大瀧神社－紙の文化博物館－卯立の工芸館

歴史散歩
5月14日

「金沢駅周辺の史跡をめぐる－安江・堀川－」

参加料：300円

参加者：22人

行程：極楽橋跡－角島家住宅－象眼町記念歌碑－安江八幡宮－堀川町－久昌寺

歴史散歩
10月8日

「新涼の卯辰山寺院群」

参加料：300円

参加者：23人

行程：全性寺－三宝寺－心蓮社－月心寺－光覚寺

(8) れきはくボランティア

市民の交流や協働、生涯学習の場として開かれた博物館を目指し、平成18年度よりボランティアを公募している。学校団体見学が増加する春季・秋季にそれぞれ募集し、体験学習コーナー内で、主に小・中学生を対象に解説、体験学習の補助を行う。

平成22年度 ボランティア活動

春季

（歴史体験コーナー 原始・古代編）

活動期間：4月26日～5月31日の平日（22日間）

事前研修：4月19日

参加人数：9人

秋季

（歴史体験コーナー 中世編）

活動期間：9月24日～11月12日の平日（32日間）

事前研修：9月14日、15日（いずれか1日）

参加人数：14人



れきはくボランティア

5. 入館状況

(1) 入館者数

	開催期間	日数	個人			団体			その他	有料計	無料計	貸展利用者	入館者計	
			一般	大学生	計	一般	大学生	計						
常設展	4月	27	1,154	47	1,201	239	279	518		1,719	4,069		5,788	
	5月	31	1,500	76	1,576	578	0	578		2,154	4,054		6,208	
	6月	28	896	33	929	563	92	655		1,584	1,736	941	4,261	
	7月	29	931	34	965	335	0	335		1,300	1,633		2,933	
	8月	31	1,801	159	1,960	403	21	424		2,384	1,946		4,330	
	9月	25	1,293	146	1,439	628	0	628		2,067	2,321		4,388	
	10月	31	1,799	63	1,862	1,305	0	1,305		3,167	7,927		11,094	
	11月	28	1,200	57	1,257	666	0	666		1,923	2,299	612	4,834	
	12月	27	512	41	553	360	1	361		914	860		1,774	
	1月	28	619	30	649	390	0	390		1,039	734		1,773	
	2月	24	809	71	880	324	26	350		1,230	825		2,055	
	3月	29	757	58	815	250	0	250		1,065	1,011		2,076	
	計	338	13,271	815	14,086	6,041	419	6,460		20,546	29,415	1,553	51,514	
特別展	春季	シャルジャ、砂漠と海の文明交流 H22.4.24～6.6(44日)		2,122	112	2,234	895	168	1,063		3,297	7,363		10,660
	夏季	トキ舞う空へ 鳥と人の文化史 H22.7.17～8.31(46日)		2,391	189	2,580	658	21	679		3,259	2,216		5,475
	秋季	徳川将軍家と加賀藩 H22.9.23～11.3(42日)		2,737	109	2,846	1,793	0	1,793		4,639	9,401		14,040
	計	132日間		7,250	410	7,660	3,346	189	3,535		11,195	18,980		30,175
合計	延 470日間		20,521	1,225	21,746	9,387	608	9,995		31,741	48,395	1,553	81,689	

(2) 曜日別入館者数(常設展・特別展)

曜日	日	月	火	水	木	金	土	計
入館者数	12,058	7,492	9,429	11,736	11,555	19,118	10,301	81,689
開館日数	51	49	47	47	47	46	51	338
平均	236	153	201	250	246	416	202	242
全団体入館件数	10	21	61	81	73	134	13	393

(3) 小・中・高生地区別入館者数

地区	小学校		中学校		高等学校		計		入館者の割合
	校	人	校	人	校	人	校	人	
加賀地区(石川以南)	63	3,347	12	161	1	35	76	3,543	20.6
金沢地区	47	3,448	25	514	9	409	81	4,371	25.4
能登地区(河北以北)	38	1,928	7	83	0	19	45	2,030	11.8
富山県	50	3,574	54	2,059	6	258	110	5,891	34.3
福井県	0	26	23	377	0	5	23	408	2.4
その他	3	443	4	293	0	206	7	942	5.5
合計	201	12,766	125	3,487	16	932	342	17,185	100

II. 施設概要

1. 設備概要

(1) 電気設備

- 受変電設備 受電電圧 6.6KV 変圧器容量 500KVA
- 発電機設備 ディーゼル機関 300PS 1800rpm
発電機 250KVA 3 相交流
- 蓄電池設備 ベント形高率放電用ペースト式据
置形鉛蓄電池 H-200AH 54 セル
- 動力設備 空調用動力 207KW 衛生用動力 13KW
エレベーター動力 60KW
非常用動力 79KW
- 電灯設備 照明器具 1,137 台
展示室内照度最高 340Lx
展示ケース内照度最高 500Lx
- 照明設備 無紫外線管球 (展示室)
- 電子交換機設備 電子交換機 72 回線 内線電話機 36 台
- 放送設備 防災アンプ 360W
- 電気時計設備 水晶発振式親時計 1 回線 子時計 11 個
- 監視テレビ ITV モニター収納架
(モニターテレビ 9in 型白黒 6 台組込)
角度伝動型カメラ 6 台
角度固定型カメラ 6 台
- テレビ・ラジオ共聴視設備
アンテナ VHF-8EL UHF-20EL
FM-5EL AM ホイップ
テレビ・ラジオ受口 14 個
- 防災設備 複合盤自火報 P 型 1 級 50 回線
消火 40 回線、防排煙 90 回線
第 1・2・3 棟避雷設備

(2) 機械設備

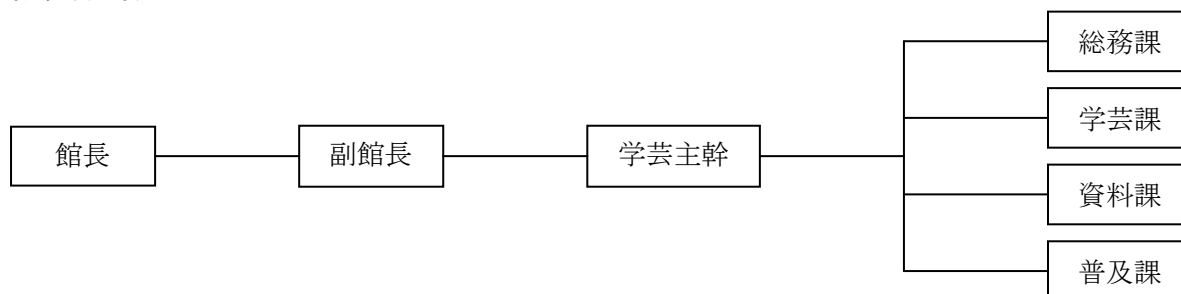
- 空調設備 保存空調温度条件 (SP 可変)
A ランク収蔵 20~24±1.5℃ RH60±5%
空調展示ケース 20~24±1.5℃RH60±5%
空調方式
変風量単一ダクト方式 第 1・3 棟一般…1 系統
定風量単一ダクト方式
特別展示室、第 5・6 展示室…2 系統
ファンコイルユニット・外気処理併用方式
第 2 棟一般…1 系統
定風量単一ダクト方式 (保存空調系統) …2 系統
熱源
一般系統、吸収冷温水
発生機 100USRT (A 重油) 75USRT (灯油)
保存系統
熱回収型チーリングユニット 30USRT
補助用真空式温水ヒータ 7,500Kcal/h (A 重油)
冷水槽 56 m³、温水槽 84 m³
- 給水設備 市水直結方式 (便所 FV 系統は圧力タンク方式)
- 給湯設備 ガス、電気による局所方式
- 排水設備 建物内分流方式、公共下水道放流
- 消火設備 屋内消火栓 12 ヶ所
ハロゲン化物消火設備 収蔵庫、資料室 3 系統
スプリンクラー
- 排煙設備 機械排煙、第 1・2・3 棟 3 系統
- 融雪設備 井水散水方式
- 昇降機設備 油圧式 荷物 (2.1t) 身障者併用 第 1・2 棟 2 基
身障者用斜行リフト 第 3 棟 1 基

2. 各室面積一覽

部 門	室 名	面 積 (m ²)	部 門	室 名	面 積 (m ²)
展 示	第 1 特別展示室	361.34	教 普 育 及	学 習 ホール	146.80
	第 2 特別展示室	110.40		閱 覧 室	19.40
	第 1 展 示 室	391.84		計	166.20
	第 2 展 示 室	454.15	調 研 査 究	研 究 室	115.47
	第 3 展 示 室	388.61		情 報 資 料 室	49.02
	第 4 展 示 室	271.25		文 献 図 書 室	54.45
	第 5 展 示 室	266.57		計	218.94
	第 6 展 示 室	168.38	収 保 蔵 存	古 文 書 室	56.23
	第 7 展 示 室	276.75		特 別 収 蔵 室	160.38
	第 8 展 示 室	301.32		第 1 収 蔵 室	356.89
	歴史体験コーナー	315.87		第 2 収 蔵 室	639.66
	スポットルーム	21.21		計	1,213.16
	キネマシヤター	36.77	そ の 他	機 械 室	667.95
	展 示 準 備 室	13.14		そ の 他	1,467.01
計	3,377.60	計		2,134.96	
管 理 サービス	休 憩 室	49.35	小 計	7,721.87	
	ロ ッ カ ー 室	19.42	渡 り 廊 下	208.46	
	解 説 員 控 室	13.14			
	ホ ー ル	264.63	合 計	7,930.33	
	事 務 室	166.65			
	副 館 長 室	28.50			
	館 長 室	51.87			
	警 備 室	17.45	敷 地 面 積	28,727.44	
計	611.01				

Ⅲ. 組織と運営

1. 職員組織



2. 職員名簿

平成 22 年度 (平成 23 年 1 月 1 日現在)

館長 (非常勤嘱託)	脇田 晴子	学芸課	普及課
副館長 (〃)	新宅 剛	課長 (技術) (併) 本康 宏史 (本務 教育委員会)	課長 (技術) 前田 武輝
学芸主幹 (再) (技術)	北 春千代	学芸専門員 (〃) (併) 大門 哲 (本務 教育委員会 兼 白山ろく民俗資料館)	学芸専門員 (〃) 小森 康弘
学芸主幹 (技術)	本谷 文雄	学芸主任 (〃) 三浦 俊明	学芸主任 (〃) 大井 理恵
学芸主幹 (〃)	戸濶 幹夫	臨時職員 中村 聡子	非常勤嘱託 嘉門 慶子
総務課		資料課	
課長 (事務)	小原 卓	課長 (技術)	濱岡 伸也
主任企画管理専門員 (〃)	森 孝弘	学芸員 (〃)	塩崎 久代
企画管理専門員	谷口 秀子	非常勤嘱託	深谷 清子
技師	山崎 栄司		
非常勤嘱託	谷内 優子		

3. 予算及び決算 ※定数内職員費及び運営費 (職員費) を除く。 (単位: 千円)

事業名	平成 22 年度		
	当初予算	最終予算	決算額
運営費	55,590	54,553	54,207
案内解説事業費	16,730	14,760	14,760
展示費	16,199	17,686	17,617
調査普及費	14,980	13,245	13,245
整備費	1,600	2,047	1,996
国際交流費	668	499	499
石引分室管理事業費	1,016	862	862
計	106,783	103,652	103,186

4. 事務分掌

平成 22 年度（平成 23 年 1 月 1 日現在）

事務分担

総務課	学芸課
<ol style="list-style-type: none"> 1 課内事務の統括に関する事。 2 出納事務に関する事。 3 諸規定の運営に関する事。 4 防犯及び防災計画に関する事。 5 運営審議会の連絡調整に関する事。 6 他の課に属しない事務に関する事。 7 予算・決算に関する事。 8 委託等契約事務に関する事。 9 財産の維持及び管理に関する事。 10 情報政策推進員業務に関する事。 11 物品及び収入・支出経理に関する事。 12 文書管理事務に関する事。 13 公用車の運転及び整備に関する事。 14 県庁、分室及び銀行、周辺文化施設等との事務連絡に関する事。 15 職員のサービス及び給与、旅費等に関する事。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学芸活動の企画・調整に関する事。 2 姉妹館との交流及び協力並びに展示・共同研究に関する事。 3 常設展の調整・改善に関する事。 4 特別展及び企画展の企画・調整に関する事。 5 展示室の視聴覚機械の保守・管理に関する事。 6 石川の歴史遺産セミナーに関する事。 7 紀要の作成に関する事。 8 貸館の企画・調整に関する事。 9 寄贈図書等の受入・整理に関する事。 10 文化財情報の収集・整理に関する事。 11 その他学芸補助に関する事。
資料課	普及課
<ol style="list-style-type: none"> 1 資料の調査・受入に関する事。 2 資料の保存・修理に関する事。 3 資料の複製・模型に関する事。 4 資料の貸与及び特別利用に関する事。 5 借用資料のとりまとめに関する事。 6 収蔵品の保全・管理に関する事。 7 コレクション展に関する事。 8 運営審議会・資料評価部会に関する事。 9 博物館実習に関する事。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 普及事業の企画・調整に関する事。 2 学校教育との連携に関する事。 3 社会教育機関との連携に関する事。 4 県民大学校に関する事。 5 ホームページに関する事。 6 広報活動の企画・実施に関する事。 7 れきはくメイトに関する事。 8 入館者の動向調査に関する事。 9 ボランティアに関する事。 10 年報・館利用案内・年間行事予定の発行に関する事。 11 石川れきはく編集・発行に関する事。 12 各種印刷物の発送に関する事。

この他、学芸関係職員はそれぞれの専門的分野を通して、関連業務および常設展、企画展、特別展等の企画、運営および特別展に関わる図録等の作成にあたることとする。

5. 各種委員会

運営審議会

石川県立歴史博物館運営審議会設置要綱

(目的)

第1条 石川県立歴史博物館（以下「博物館」という。）の円滑かつ適正な運営を図るため、石川県立歴史博物館運営審議会（以下「運営審議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 運営審議会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 博物館の運営に関すること。
- (2) 博物館長の諮問に対する答申。
- (3) 博物館長に対する意見具申に関すること。
- (4) 博物館が取得しようとする資料の学問的及び価格に関すること。
- (5) その他、特に必要と認められること。

(組織)

第3条 運営審議会は、20名以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会との協議を経て、知事が委嘱する。

- (1) 社会教育関係者
- (2) 学校教育関係者
- (3) 学識経験者

3 委員は、互選によって会長及び副会長を定める。

4 会長は、議長となり会議を主宰し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を行う。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 運営審議会の会議は、会長が召集する。

2 運営審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

(専門部会)

第6条 運営審議会には、博物館が取得しようとする資料の学問的評価及び価格（以下「資料の評価等」という。）に関し審議する専門部会（以下「資料評価専門部会」という。）を置く。

2 資料評価専門部会に関する必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第7条 運営審議会の事務局は博物館において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、運営審議会の運営について必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

会 議

<第1回> 平成22年10月27日（水）

会 場 本館学習ホール

議 事 (1) 平成22年度事業の実施状況について
(2) 平成23年度事業計画方針の策定について
(3) 歴史博物館のリニューアルについて

<第2回> 平成23年3月9日（水）

会 場 本館学習ホール

議 事 (1) 平成22年度事業の執行状況について
(2) 平成23年度事業計画及び予算について
(3) 歴史博物館のリニューアルについて

委員名簿（13名）

（平成23年3月1日現在）

氏 名	役 職	委員の構成	備考
北 西 弘	元大谷大学学長	学識経験者	資料評価専門部会員
高 澤 裕 一	金沢大学名誉教授	〃	資料評価専門部会員
東 澄 子	元石川県立美術館学芸主幹	〃	資料評価専門部会員
橋 本 澄 夫	石川考古学研究会顧問	〃	資料評価専門部会員
太 田 昌 子	元金沢美術工芸大学美術工芸部教授	〃	
浅 香 久美子	金沢市教育長	〃	
高 屋 喜久子	元金沢学院大学美術文化学部情報デザイン科教授	〃	
笠 井 純 一	金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系教授	〃	
橘 禮 吉	加能民俗の会名誉会長	〃	資料評価専門部会員
藤 多 典 子	石川県婦人団体協議会役員	社会教育関係者	
川 岸 典 子	石川県小学校長会（金沢市立西小学校長）	学校教育関係者	
普 照 豊	石川県中学校長会（金沢市立浅野川中学校長）	〃	
末 平 万紀子	石川県高等学校長会（県立ろう学校長）	〃	

6. 入場料について

(1) 入場料の徴収（石川県立歴史博物館使用料条例第3条による徴収〔常設展〕）平成18年6月30日より

区 分	一般（18歳以上の者）	250円（200円）
	大学の学生及びこれに準ずる者	200円（160円）
※（ ）は20人以上の団体割引料金		

- ・・・18歳未満は高校生でなくても無料である。
- ・・・大学生、短大生、専門学校生など学校教育法に基づく許可を受けている学校の学生。
（年令不問ただし証明するものがあること）

(2) 石川県立歴史博物館使用料等減免基準

（石川県立歴史博物館使用料施行規則第5条第1項第1号、2号、3号による使用料の減免）

項 目			減 免 後 の 入 場 料	
			常 設 展	特 別 展
第5条 第1項第1号		小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童又は生徒の引率者が教育課程に基づく教育活動として入場するとき	無 料	無 料
第5条 第1項第2号		県内に居住する生活保護法に基づく生活扶助又は教育扶助を受けている者	無 料	無 料
第5条 第1項第3号	1	身体障害者手帳又は療育手帳又は精神保健福祉手帳を所持する者及び社会福祉施設利用者	祝 日	団体料金
			その他	
	2	上記1付添者（手帳所持者1人につき1名、団体の付添者は全員）	無 料	無 料
	3	65歳以上の者	祝 日	団体料金
その他				
	4	入館を予定する学校団体の教師（下見）	無 料	無 料
	5	幼稚園、保育園等の団体の引率者	無 料	無 料
	6	取材目的をもって観覧する報道関係者	無 料	無 料
	7	資料調査を目的として観覧する者	無 料	無 料
	8	石川県博物館協議会会員証及び日本博物館協会会員証を所持する者（提示者本人と同伴者1名の計2名まで）	無 料	無 料
	9	歴史博物館招待券を所持する者	無 料	無 料
	10	歴史博物館れきはくメイト会員証を所持する者	無 料	団体料金
	11	石川県立美術館、石川県立輪島漆芸美術館、石川県七尾美術館、珠洲市珠洲焼資料館友の会会員証を所持する者	団体料金	団体料金
	12	金沢コンベンションビューロー指定の大会等に参加し、指定の半券を提示する者（提示者本人と同伴者1名の計2名まで）	団体料金	団体料金
	13	兼六園周辺文化施設鑑賞パスポートを所持する者（パスポート提示段階では徴収なし）600円で販売	料金は近代文学館が徴収	特別料金を別途徴収
	14	兼六園・文化施設共通利用券（兼六園プラス1）を所持する者（利用券提示段階では徴収なし）個人500円、団体（30名以上）400円で販売	料金は近代文学館が徴収	特別料金を別途徴収
	15	KGGN（金沢グッドウィルガイドネットワーク）の身分証明書を所持する者	無 料	無 料
	16	タクシー、観光バスの運転手、乗務員、添乗員及びボランティアガイド「まいどさん」で客と同行して入場する者	無 料	無 料
	17	かなざわ冬の旅観光キャンペーンスタンプラリー参加者	団体料金	団体料金
	18	「ほっと石川観光倶楽部」の会員証を提示する者及び同伴者全員	団体料金	団体料金
	19	金沢市文化施設共通観覧券を所持する者	団体料金	団体料金
	20	ボーイスカウト、少年スポーツ団体、学童保育機関等の引率者及び付添者（事前に申し出た場合に限る）	無 料	無 料
	21	石川県職員互助会発行の県立美術館・歴史博物館共通利用補助券を所持する者（共通券提出段階で常設展は徴収なし、特別展は差額徴収）	無 料	団体料金から300円引いた額を徴収
	22	石川県教職員互助会の発行する石川県立歴史博物館利用券（特別展名入り）を所持する者（利用券提出段階で当該特別展の団体料金を徴収）	利用不可	団体料金 （利用券に記載された特別展開催時のみ利用可）
	23	金沢勤労者福祉サービスセンター発行の文化施設無料利用券を所持する者（利用券提出段階で常設展のみ徴収なし、特別展開催時は利用できない）	無 料	通常料金徴収
	24	金沢・加賀ぐるりんパスを所持する者（ぐるりんパス及びびかえり券の提示段階では徴収なし）	料金はJR西日本が徴収	特別料金を別途徴収
	25	金沢・加賀百万石パスポートを所持する者（パスポート提示段階では徴収なし）大人2,000円で販売	料金はトップツアーが徴収	特別料金を別途徴収
	26	その他の理由により必要と認められる者	無料または団体料金	無料または団体料金

館長が特別の理由により必要と認めるとき

IV. 関係条例・規則

1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例 (昭和32年3月27日条例第14号)

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項、図書館法(昭和25年法律第118号)第10条、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定により、県に学校以外の教育機関等及びその他の施設を設置する。

(名称、位置及び事業内容)

第2条 前条の教育機関等の名称、位置及び事業内容は、次のとおりとする。

名 称	位 置	事 業 内 容
石川県立歴史博物館	金沢市	歴史民俗文化財の収集、保管及び展示並びに歴史民俗文化財に関する調査研究及び指導に関すること。

備考 石川県立歴史博物館の設置は、昭和61年3月22日条例第24号の改正による。

2. 石川県立歴史博物館管理規則 (平成18年6月30日石川県規則第43号)

(趣 旨)

第1条 この規則は、学校以外の教育機関等設置に関する条例(昭和32年石川県条例第14号)第11条の規定により、石川県立歴史博物館(以下「歴史博物館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 歴史博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、展示室への入室は、午後4時30分までとする。

(休館日)

第3条 歴史博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで
- (2) 資料の展示替え又は整理の期間

(開館時間の変更等)

第4条 前2条の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、臨時に開館時間を変更し、又は休館することができる。

2 前項の規定により開館時間を変更し、又は休館する場合は、その旨を歴史博物館の入口その他見やすい場所に掲示するものとする。

(入館の制限)

第5条 石川県立歴史博物館長(以下「館長」という。)は、次の各号の1に該当する者に対しては、歴史博物館への入館を拒否することができる。

- (1) 他の入館者に迷惑を及ぼすおそれがある者
- (2) 他の入館者に危害を加え、又は歴史博物館の設備、器具若しくは展示品を損傷するおそれがある物品又は動物を携帯する者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、歴史博物館の管理上支障があると認められる行為をするおそれがある者

(入館者の遵守事項等)

第6条 歴史博物館の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品に触れないこと(特に指定した展示品を除く。)
- (2) 展示品の近くでインキ、墨汁等を使用しないこと。
- (3) 館長の許可を受けないで、展示品の撮影、模写等をしないこと。
- (4) 館長の指定する場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- (5) 寄付金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと。
- (6) 他の入館者に危害を加え、又迷惑となる行為をしないこと。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

2 館長は、入館者が前項の規定に違反したときは、その者に退去を命じ、又は必要な措置をとることができる。

(特別利用の許可等)

第7条 歴史博物館が所蔵する資料(以下「所蔵品」という。)の閲覧、模写、模造、撮影又は写真原板使用等(以下これらを「特別利用」という。)をしようとする者は、別記様式第1号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第1号は省略

2 前項の場合において、所蔵品でないもの又は他に著作権があるものについては、それぞれ当該所有者又は著作権者の同意を得た書面を添付しなければならない。

3 館長は、第1項の許可に歴史博物館の管理上必

要な条件を付すことができる。

- 4 館長は、第1項の許可を受けた者が前項の規定により付された許可の条件に違反した場合には、当該許可を取り消し、又は当該許可に係る特別利用を停止させることができる。

(施設の使用許可)

- 第8条 歴史博物館の施設(第1特別展示室に限る。)を使用しようとする者は、使用しようとする日の1年前から1月前までに別記様式第2号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、館長が特別の事情があると認めるときは、この期間によらないことができる。

※別記様式第2号は省略

- 2 前項の許可は、館長が歴史博物館の事業活動に支障がないと認める場合にするものとする。
- 3 前条第3項の規定は、第1項の許可に準用する。

(施設使用の制限)

- 第9条 館長は、前条第1項本文の規定による申請が次のいずれかに該当する場合には、同項の許可をしないことができる。

- (1) 館内の秩序又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 営利のみを目的とするおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、歴史博物館の管理上支障があると認められるとき。

(施設使用の変更)

- 第10条 第8条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)が当該許可に係る事項の変更をしようとするときは、別記様式第3号による申請書に同項の許可に係る許可書を添えて館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第3号は省略

(使用者の使用取消し)

- 第11条 使用者が施設の使用を取り消すときは、別記様式第4号による届出書に第8条第1項の許可に係る許可書を添えて、速やかに、館長に提出しなければならない。この場合において、前条の規定による変更の許可を受けていた場合は、当該変更に係る許可書を添えてしなければならない。

※別記様式第4号は省略

(使用権の譲渡等の禁止)

- 第12条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(施設の変更の禁止)

- 第13条 使用者は、施設に変更を加え、又は特別の設備を設けてはならない。ただし、あらかじめ、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

(使用者の遵守事項)

- 第14条 使用者は、前2条に規定するもののほか、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 許可を受けた目的外に使用しないこと。
- (2) 使用許可を受けた施設(以下「使用許可施設」という。)以外の施設に立ち入らないこと。
- (3) 館長の許可を受けずに寄付金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと(第三者をして行わせる場合を含む)。
- (4) 第5号各号のいずれかに該当する者に対しては、使用許可施設への入場を拒否すること。
- (5) 使用許可施設の入場者に第6条第1項各号に掲げる事項を守らせ、及び当該事項を守らない者があるときは、その者を退場させ、又は必要な措置を講ずること。
- (6) 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に努めること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

(施設使用許可の取消し)

- 第15条 使用者が次のいずれかに該当する場合には、館長は、第8条第1項の許可を取り消すことができる。

- (1) 虚偽の申請により許可を受けたことが判明したとき。
- (2) 第8条第3項において準用する第7条第3項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- (3) 第9条各号のいずれかに該当すると認められたとき。
- (4) 第10条から前条までの規定に違反したとき。

(館長の指示等)

- 第16条 館長は、歴史博物館の秩序の維持及び施設の管理上必要があると認めるときは、使用者に対し、施設の使用に関して指示をし、又は職員を使用中の施設に立ち入らせその使用状況を調査させることができる。

(原状回復)

- 第17条 使用者は、施設の使用を終了したときは、その使用に係る施設を直ちに原状に回復し、館長に届け出てその点検を受けなければならない。第15条の規定により使用の許可を取り消されたときも同様とする。

(施設使用終了の報告)

- 第18条 使用者は、施設の使用を終了したときは、速やかに、別記様式第5号による報告書を館長に提出しなければならない。

※別記様式第5号は省略

(損害賠償)

第19条 館長は、歴史博物館の施設、設備、展示品等を故意又は過失によりき損又は滅失した者に対して、その損害を賠償させることができる。

(所蔵品の貸出し)

第20条 館長は、所蔵品を他の博物館又はこれに準ずるものに貸し出すことができる。公益事業の用に供するときも同様とする。

2 館長は、前項の規定により所蔵品の貸出しを行う場合において、当該所蔵品が文化財保護法（昭和25年法律第214号）又は石川県文化財保護条例（昭和32年石川県条例第41号）の規定による指定

を受けた文化財であるときは、教育委員会教育長の承認を受けなければならない。

(資料の受託)

第21条 館長は、資料の保管の委託を受けるときは、知事の承認を受けなければならない。

(雑則)

第22条 この規則に定めるもののほか、歴史博物館の管理運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この規則は、公布の日から施行する。

附則（平成18年6月30日規則第43号）

この規則は、公布の日から施行する。

3. 石川県立歴史博物館使用料条例（平成18年6月30日条例第29号）

(趣旨)

第1条 この条例は、石川県立歴史博物館（以下「歴史博物館」という。）の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用料)

第2条 この条例において「使用料」とは、入場料及び施設使用料をいう。

(入場料)

第3条 知事は、展示資料を観覧するため歴史博物館へ入館する者から入場料を徴収する。

2 入場料の額は、別表1のとおりとする。

(施設使用料)

第4条 知事は、歴史博物館の施設の使用の許可を受けた者（別表2において「使用者」という。）から施設使用料を徴収する。

2 施設使用料の額は、別表2のとおりとする。

(使用料の納付等)

第5条 使用料は、前納しなければならない。ただし、知事は、相当の理由があると認めるときは、使用料の全部又は一部を後納させることができる。

2 既納の使用料は、返還しない。ただし、知事が返還することを相当と認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

3 知事は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(規則への委任)

第6条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附則

1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、附則第2項の規定は昭和61年4月1日から

施行する。（昭和61年10月規則第43号で、同61年10月25日から施行）

2 石川県立郷土資料館入場料条例（昭和43年石川県条例第38号）は、廃止する。

附則（平成元年3月24日条例第5号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成元年4月1日から施行する。（後略）

附則（平成18年6月30日条例第29号）

この条例は、公布の日から施行する。

別表第1（第3条関係）

1 常設展示を観覧する場合

区 分	単 位	金 額	
		個人	団体 (20人以上)
一 般 (18歳以上の者)	1人につき	250円	200円
大学の学生及び これに準ずる者	1人につき	200円	160円

2 特別展示を観覧する場合

1,000円の範囲内で知事がその都度定める額

別表第2（第4条関係）

1 使用者が観覧料、入場料その他これらに類する料金（次項において「料金」という。）を徴収しない場合

区 分	単 位	施設利用料の額
第1特別展示室	1日につき	18,400円

2 使用者が料金を徴収する場合

前項の施設使用料の額に100分の130を乗じて得た額

備考

1 「1日」とは、午前9時から午後5時までをいう。

2 使用時間が1日の時間に満たない場合の施設使用料の額は、当該1日の施設使用料の額とする。

4. 石川県立歴史博物館使用料条例施行規則 (平成19年3月30日 規則第22号)

(趣 旨)

第1条 この規則は、石川県立歴史博物館使用料条例(昭和61年石川県条例第26号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入場券)

第2条 条例第3条第1項の規定により入場料を徴収したとき(前納したときに限る。)は、当該被徴収者に別記様式第1号に規定する入場券を交付するものとする。

(使用料の後納)

第3条 条例第5条第1項ただし書きの規定により使用料を後納させることができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 旅行業法(昭和27年法律第239号)第3条の規定による登録を受けた者との入場に係る契約に基づき入場させるとき。
- (2) その他石川県立歴史博物館長(以下「館長」という。)が特別の理由により必要と認めるとき。

(使用料の返還)

第4条 条例第5条第2項ただし書きの規定により使用料を返還することができる場合及びその割合は、次のとおりとする。

- (1) 管理上の必要により、施設の使用の許可を取り消したとき。 施設使用料の全額
- (2) 施設の使用許可を受けた者が使用開始前10日までに使用の取消しを届け出たとき。 施設使用料の100分の60に相当する額
- (3) その他館長が特別の理由により必要と認めるとき。 入場料又は施設使用料のうち館長が相当と認める額

2 前項の規定により使用料の返還を受けようとする者は、別記様式第2号に規定する使用料返還請求書に入場料の返還の場合にあっては、入場券を添えて、館長に提出しなければならない。

(使用料の減免)

第5条 条例第5条第3項の規定により使用料を減免することができる場合及びその割合は、次のとおりとする。

- (1) 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童又は生徒の引率者が教育課程に基づく教育活動として入場するとき。 使用料の全額
- (2) 生活保護法(昭和25年法律第144号)に基づく生活扶助又は教育扶助を受けている者で県内

に居住する者が入場するとき。 使用料の全額

- (3) その他館長が特別の理由により必要と認めるとき。 入場料又は施設使用料のうち館長が相当と認める額

2 前項の規定により入場料の減免を受けようとする者の取扱いについては、館長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和61年10月25日から施行する。

附 則 (平成元年3月31日規則第25号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則 (平成7年月28日規則第33号)

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則 (平成11年3月31日規則第35号)

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 この規則による改正前のそれぞれの規則の規定に基づき作成した用紙は、なお当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則 (平成18年6月30日規則第41号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成19年3月30日規則第22号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

V. 日記（抄）

平成 22(2010)年 4月 1日～平成 23(2011)年 3月 31日

平成22(2010)年

- 4.1 歴史スポット展示コーナー「テレホンカード(後期)」(～4.20)
- 4.3 歴史体験コーナー 原始・古代編(～7.7)
- 4.21 展示準備休館(～4.23)
- 4.23 春季特別展「シャルジャ、砂漠と海の文明交流ーアラビアの歴史遺産と文化ー」開会式・内覧会
- 4.24 春季特別展「シャルジャ、砂漠と海の文明交流ーアラビアの歴史遺産と文化ー」(～6.6)
- 4.24 春季特別展ワークショップ(～4.25)
- 4.26 れきはくボランティア(～5.31)
- 5.7 常設展示ワンポイント解説①「白山三社神像について」
- 5.14 れきはくメイト 春の歴史散歩「金沢駅周辺の史跡をめぐるー安江・堀川ー」
- 5.15 れきはくゼミナール①「源氏物語の意匠」
- 5.17 古文書とお友だち①
- 5.22 春季特別展講演会「アラビア半島を掘る」佐々木達夫氏
- 5.29 第9回石川の歴史遺産セミナー「港湾都市の形成と日本海」
- 6.3 古文書とお友だち②
- 6.4 常設展示ワンポイント解説②「『田園四季耕作図絵馬』を読む」
- 6.7 展示準備休館(～6.8)
- 6.9 歴史スポット展示コーナー「加賀藩主の手紙～文字にこめられた思い～」(～7.7)
- 6.11 貸館「莎晃会書展」(～6.14)
- 6.18 歴史スポット展示コーナー「加賀藩主の手紙」フロアトーク
- 6.19 れきはくゼミナール②「日本列島マンホールの蓋紀行」
- 6.25 れきはくメイト 春のバスツアー「高岡・再発見ー伝統の町並みと寺院をめぐるー」
- 6.29 古文書とお友だち③
 - 7.2 わく・ワーク職場体験受け入れ(金沢市立兼六中学校 ～7.1)
 - 7.6 わく・ワーク職場体験受け入れ(金沢市立額中学校 ～7.8)
 - 7.8 歴史体験コーナー休止(～9.7 夏季特別展会場に使用)
- 7.10 れきはくゼミナール③「加賀藩主歴代」
- 7.15 展示準備休館(～7.16)
- 7.17 夏季特別展「トキ舞う空へ 鳥と人の文化史」(～8.31)
- 7.18 夏季特別展関連企画「村本義雄氏による展示ツアー『トキ 命の軌跡』」①
- 7.19 夏季特別展特別セミナー「トキ野生復帰への道ー動物園が取り組んだ復活作戦ー」竹田伸一氏
- 7.21 わく・ワーク職場体験受け入れ(金沢市立紫錦台中学校 ～7.23)
- 7.22 古文書とお友だち④
- 7.25 夏季特別展関連企画「れきはく学芸員による展示ツアー『鳥と人の500年』」①
- 8.1 夏季特別展関連企画「村本義雄氏による展示ツアー『トキ 命の軌跡』」②
- 8.2 博物館学芸員実習受け入れ(～8.7)
- 8.6 常設展示ワンポイント解説④「戦時下のくらしと代用品」
- 8.8 夏季特別展関連企画「れきはく学芸員による展示ツアー『鳥と人の500年』」②
- 8.21 れきはくゼミナール④「鳥がさえずる日本史」
- 8.24 石川県庁インターンシップ・カリキュラム受け入れ(～8.25)
- 9.1 展示準備休館(～9.3)
- 9.8 歴史体験コーナー 中世編(～2011.3.27)
- 歴史スポット展示コーナー「加賀郡勝示札の世紀ー加茂遺跡にみる古代社会ー」(～9.30)
- 9.10 常設展示ワンポイント解説⑤「縄文時代の食生活」
- 9.12 第10回石川の歴史遺産セミナー「気多神社と北陸の地域社会」
- 9.18 れきはくゼミナール⑤「雨乞いの考古学」
- 9.20 歴史スポット展示コーナー「加賀郡勝示札の世紀」フロアトーク
- 9.21 展示準備休館(～9.22)
- 9.23 秋季特別展「徳川将軍家と加賀藩一姫君たちの輝きー」(～11.3)
- 秋季特別展講演会「ご当主対談『徳川家と前田家』」徳川恒孝氏・前田利祐氏
- 9.24 れきはくボランティア(～11.12)
- 9.25 秋季特別展ギャラリートーク①
- 9.28 古文書とお友だち⑤



学校の団体見学



莎晃会書展



れきはくゼミナール



春のバスツアー



夏季特別展館内ディスプレイ

- 10.1 常設展示ワンポイント解説⑥「本多の森 屋外展示ツアー」
歴史スポット展示コーナー「近世のごちそう～『食』がもたらすシアワセ～」(～11.3)
- 10.4 第1回歴史博物館リニューアル検討委員会
- 10.6 ミュージアムウィーク文化の森ミニツアー「秋の歴博探検隊」
- 10.8 れきはくメイト 秋の歴史散歩「新涼の卯辰山寺院群」
- 10.9 秋季特別展ギャラリートーク②
- 10.13 歴史スポット展示コーナー「近世のごちそう」フロアトーク
- 10.16 れきはくゼミナール⑥「徳川將軍家と加賀藩」
- 10.18 古文書とお友だち⑥
- 10.30 秋季特別展ギャラリートーク③
- 11.4 展示準備休館(～11.5)
- 11.6 歴史スポット展示コーナー「金沢は大にぎわい！ー盆正月の世界ー」(～11.30)、フロアトーク
- 11.10 いしかわ県民大学校歴史講座開校式、①「石川の原始」
わく・ワーク職場体験受け入れ(石川県立金沢錦丘中学校 ～11.12)
- 11.12 れきはくメイト 秋のバスツアー「越前・伝統工芸のルーツと名園の旅」
常設展示ワンポイント解説⑦「海辺の風景ーマガキと船小屋ー」
- 11.14 第11回石川の歴史遺産セミナー「能登と北海道・満州移民」
- 11.16 古文書とお友だち⑦
- 11.17 貸館「ふれてみるいしかわの文化展」(～11.21)
- 11.17 県民大学校②「石川の古代」
- 11.24 県民大学校③「石川の中世」
- 12.1 県民大学校④「石川の近世Ⅰ」
歴史スポット展示コーナー「加賀藩の和算力ー天文測定のネットワークー」(～12.27)
- 12.3 常設展示ワンポイント解説⑧「金沢商人と江戸時代のお金」
- 12.8 県民大学校⑤「石川の近世Ⅱ」
- 12.9 歴史スポット展示コーナー「加賀藩の和算力」フロアトーク
- 12.15 県民大学校⑥「石川の近現代」
- 12.16 古文書とお友だち⑧
- 12.18 れきはくゼミナール⑦「布と手わざの文化史ー押絵・細工物ー」
- 12.28 年末年始休館(～2011.1.3)



ミニツアー「歴博探検隊」



秋の歴史散歩



歴史スポット展示コーナー



ふれてみるいしかわの文化展



石川県民大学校歴史講座

平成23(2011)年

- 1.4 仕事始め 新春展「新春を祝うーウサギがいっぱいー」(～2.6)
歴史スポット展示コーナー「加賀象嵌 いま・むかし」(～2.6)
- 1.5 県民大学校⑦「石川の民俗」
- 1.7 常設展示ワンポイント解説⑨「城下町を歩くー『金沢城下図屏風』ー」
- 1.9 歴史スポット展示コーナー「加賀象嵌 いま・むかし」フロアトーク①
- 1.12 県民大学校⑧「石川の文化財」
- 1.15 れきはくゼミナール⑧「乃木と日露とマッカーサー」
- 1.19 県民大学校⑨「戦後の日本・石川 主な出来事」
- 1.23 歴史スポット展示コーナー「加賀象嵌 いま・むかし」フロアトーク②
- 1.24 古文書とお友だち⑨
- 1.26 県民大学校⑩「博物館と文化財保存」、閉校式
- 2.4 常設展示ワンポイント解説⑩「戦後石川の変化」
- 2.5 脇田晴子館長文化勲章受章記念講演会「私の歩んだ道」
- 2.7 展示準備休館(～2.8)
- 2.9 歴史スポット展示コーナー「ネコのコヤ～白山ろくの暮らしとネコ～」(～3.21)
- 2.17 展示準備休館(～2.18)
- 2.19 れきはくコレクション2010(～3.21)
れきはくゼミナール⑨「近世初期金沢の世相」
- 2.20 れきはくコレクション2010 列品解説①「昭和のくらし」
- 2.24 古文書とお友だち⑩
- 2.27 れきはくコレクション2010 列品解説②「江戸時代の武士と町人」
- 3.4 常設展示ワンポイント解説⑪「出挙木簡に学ぶ」
- 3.6 れきはくコレクション2010 列品解説③「能登天領伏戸村の近世～近代」
- 3.12 歴史スポット展示コーナー「ネコのコヤ」フロアトーク
- 3.19 れきはくゼミナール⑩「高度経済成長と石川」
- 3.22 展示準備休館(～3.23)
- 3.24 歴史スポット展示コーナー「昭和初期の世相」(～4.20)
古文書とお友だち⑪
- 3.30 歴史スポット展示コーナー「昭和初期の世相」フロアトーク

石川県立歴史博物館 年報
第14号 平成22年度版
平成24年 3月31日発行

発 行 石川県立歴史博物館
〒920-0963

石川県金沢市出羽町 3 番 1 号

T E L (076) 262-3236

印 刷 前田印刷株式会社



石川県立歴史博物館